マニュアルの使いかた

安心してお使いいただくために

- パソコンをお取り扱いいただくための注意事項
  ご使用前に必ずお読みください。

セットアップガイド（本書）

- パソコンの準備
- Windowsのセットアップ
- 電源の切りかた
- Q&A集（電源が入らないとき）
- リカバリー（再セットアップ）
- 廃棄／譲渡

など

取扱説明書

- 電源の入れかた
- 各部の名前
- メモリの取り付け／取りはずし
- バッテリーパックの交換
- システム環境の変更とは

など

オンラインマニュアル

Windowsが起動しているときにパソコンの画面上で見るマニュアルです。

参照 起動方法「1章 7 画面で見るマニュアル」

- パソコンを買い替えたとき
- パソコンの基本操作
- ネットワーク機能
- 周辺機器の接続
- バッテリーで使う方法
- システム環境の変更
- パソコンの動作がおかしいとき／Q&A集

など

リリース情報

- 本製品を使用するうえでの注意事項など
  必ずお読みください。

参照 「はじめに-リリース情報について」

もくじ

はじめに

本製品を安全に正しく使うために重要な事項が、付属の冊子『安心してお使いいただくために』に記載されています。必ずお読みになり、正しくお使いください。
お読みになったあとは、いつでも見られるようにお手元に大切に保管してください。

本書は、次の決まりに従って書かれています。

記号の意味

⚠ 警 告	“取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷（＊1）を負うことが想定されること”を示します。
⚠ 注 意	“取扱いを誤った場合、使用者が傷害（＊2）を負うことが想定されるか、または物的損害（＊3）の発生が想定されること”を示します。
お願い	データの消失や、故障、性能低下を起こさないために守ってほしい内容、仕様や機能に関して知っておいてほしい内容を示します。
メモ	知っていると便利な内容を示します。
役立つ操作集	知っていると役に立つ操作を示します。
参照	このマニュアルやほかのマニュアルへの参照先を示します。 このマニュアルへの参照の場合 …「　」 ほかのマニュアルへの参照の場合 …『　』 オンラインマニュアルへの参照の場合 …《　》 オンラインマニュアルには、さまざまな情報が記載されています。

＊1　重傷とは、失明やけが、やけど（高温・低温）、感電、骨折、中毒などで、後遺症が残るものおよび治療に入院・長期の通院を要するものをさします。
＊2　傷害とは、治療に入院や長期の通院を要さないけが・やけど・感電などをさします。
＊3　物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペット等にかかわる拡大損害をさします。

用語について

本書では、次のように定義します。

システム
特に説明がない場合は、使用しているオペレーティングシステム（OS）を示します。

アプリケーションまたはアプリケーションソフト
アプリケーションソフトウェアを示します。

Windows 7
Windows® 7 Home Premium、Windows® 7 Starter または Windows® 7 Professional を示します。

7 Professional モデル
Windows® 7 Professional を搭載しているモデルを示します。

Windows Vista
Windows Vista® Home Premium、Windows Vista® Home Basic または Windows Vista® Business を示します。

Vista Business モデル
Windows Vista® Business が搭載されているモデルを示します。

Windows XP
Microsoft® Windows® XP Professional operating system 日本語版または Microsoft® Windows® XP Home Edition operating system 日本語版を示します。

XP Pro モデル
Microsoft® Windows® XP Professional operating system 日本語版が搭載されているモデルを示します。

XP Home モデル
Microsoft® Windows® XP Home Edition operating system 日本語版が搭載されているモデルを示します。

Microsoft IME
Microsoft® Office IME 2007 または Microsoft® IME を示します。

ドライブ
パソコン本体内蔵の DVD スーパーマルチドライブ（モデルによっては書き込み機能を禁止しています。）／DVD-ROM & CD-R/RW ドライブ、別売りの外付け DVD ドライブを示します。内蔵しているドライブはモデルによって異なります。

Office 搭載モデル
Microsoft® Office Personal 2007 または Microsoft® Office Professional 2007 をプレインストールしているモデルを示します。

PowerPoint 搭載モデル
Microsoft® Office PowerPoint® 2007 をプレインストールしているモデルを示します。

無線 LAN モデル
無線 LAN 機能を搭載しているモデルを示します。

指紋センサー内蔵モデル
指紋センサーを内蔵しているモデルを示します。

東芝サービスステーション搭載モデル
東芝サービスステーションを搭載しているモデルを示します。

トークン機能搭載モデル
トークン機能が搭載されているモデルを示します。

HDD リカバリー機能搭載モデル
ハードディスクリカバリー機能が搭載されているモデルを示します。

TPM 搭載モデル
TPM 機能が搭載されているモデルを示します。

記載について

・記載内容によっては、一部のモデルにのみ該当する項目があります。その場合は、「用語について」のモデル分けに準じて、「＊＊＊＊モデルの場合」「＊＊＊＊シリーズのみ」などのように注記します。
・インターネット接続については、ブロードバンド接続を前提に説明しています。
・アプリケーションについては、本製品にプレインストールまたは内蔵ハードディスクや付属の CD ／ DVD からインストールしたバージョンを使用することを前提に説明しています。
・［コントロールパネル］画面には 2 種類の表示形式があります。本書では、次のように設定していることを前提に説明しています。

Windows 7 の場合　　：「カテゴリ」
Windows Vista の場合：「コントロールパネルホーム」
Windows XP の場合　：「カテゴリ表示」

「クラシック表示」になっている場合は、画面右の「大きいアイコン」／「小さいアイコン」（Windows 7）、画面左の「コントロールパネルホーム」（Windows Vista）または「カテゴリ表示」（Windows XP）をクリックしてください。
・本書に記載している画面やイラストは一部省略したり、実際の表示とは異なる場合があります。
・本書は、語尾をのばすカタカナ語の表記において、語尾に長音（ー）を適用しています。
画面の表示と異なる場合がありますが、読み換えてご使用ください。

Trademarks

・Microsoft、Windows、Windows Media、Aero、Outlook、MSN、Excel、PowerPoint は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
・Windows の正式名称は、Microsoft Windows Operating System です。
・Intel、インテル、インテル Core、Centrino は、アメリカ合衆国およびその他の国における Intel Corporation またはその子会社の商標、または登録商標です。
・Adobe、Adobe Reader は Adobe Systems Incorporated（アドビ システムズ社）の米国ならびに他の国における商標ならびに登録商標です。

本書に掲載の商品の名称やロゴは、それぞれ各社が商標および登録商標として使用している場合があります。

プロセッサ（CPU）に関するご注意

本製品に使われているプロセッサ（CPU）の処理能力は次のような条件によって違いが現れます。

・周辺機器を接続して本製品を使用する場合
・AC アダプターを接続せずバッテリー駆動にて本製品を使用する場合
・マルチメディアゲームや特殊効果を含む映像を本製品にてお楽しみの場合
・本製品を通常の電話回線、もしくは低速度のネットワークに接続して使用する場合
・複雑な造形に使用するソフト（たとえば、運用に高性能コンピューターが必要に設計されているデザイン用アプリケーションソフト）を本製品上で使用する場合
・気圧が低い高所にて本製品を使用する場合
目安として、標高 1,000 メートル（3,280 フィート）以上をお考えください。
・目安として、気温 5 ～ 30℃（高所の場合 25℃）の範囲を超えるような外気温の状態で本製品を使用する場合

本製品のハードウェア構成に変更が生じる場合、CPU の処理能力が実際には仕様と異なる場合があります。
また、ある状況下においては、本製品は自動的にシャットダウンする場合があります。これは、当社が推奨する設定、使用環境の範囲を超えた状態で本製品が使用された場合、お客様のデータの喪失、破損、本製品自体に対する損害の危険を減らすための通常の保護機能です。なお、このようにデータの喪失、破損の危険がありますので、必ず定期的にデータを外部記録機器にて保存してください。また、プロセッサが最適の処理能力を発揮するよう、当社が推奨する状態にて本製品をご使用ください。

■ 64 ビットプロセッサに関する注意
64 ビット対応プロセッサは、64 ビットまたは 32 ビットで動作するように最適化されています。
64 ビット対応プロセッサは以下の条件をすべて満たす場合に 64 ビットで動作します。

・64 ビット対応の OS（オペレーティングシステム）がインストールされている
・64 ビット対応の CPU/ チップセットが搭載されている
・64 ビット対応の BIOS が搭載されている
・64 ビット対応のデバイスドライバーがインストールされている
・64 ビット対応のアプリケーションがインストールされている

特定のデバイスドライバーおよびアプリケーションは 64 ビットプロセッサ上で正常に動作しない場合があります。
プレインストールされている OS が、64 ビット対応と明示されていない場合、32 ビット対応の OS がプレインストールされています。
このほかの使用制限事項につきましては各種説明書をお読みください。また、詳細な情報については東芝 PC あんしんサポートにお問い合わせください。

著作権について

音楽、映像、コンピューター・プログラム、データベースなどは著作権法により、その著作者および著作権者の権利が保護されています。こうした著作物を複製することは、個人的にまたは家庭内で使用する目的でのみ行うことができます。上記の目的を超えて、権利者の了解なくこれを複製（データ形式の変換を含む）、改変、複製物の譲渡、ネットワーク上での配信などを行うと、「著作権侵害」「著作者人格権侵害」として損害賠償の請求や刑事処罰を受けることがあります。本製品を使用して複製などをする場合には、著作権法を遵守のうえ、適切な使用を心がけてください。

リリース情報について

「リリース情報」には、本製品を使用するうえでの注意事項などが記述されています。
必ずお読みください。次の操作を行うと表示されます。

①［スタート］→［すべてのプログラム］→［はじめに］→［リリース情報］をクリックする

［ユーザー アカウント制御］画面について

＊ Windows 7、Windows Vista のみ

操作の途中で［ユーザーアカウント制御］画面が表示された場合は、そのメッセージを注意して読み、開始した操作の内容を確認してから、画面の指示に従って操作してください。
パスワードの入力を求められた場合は、管理者アカウントのパスワードで認証を行ってください。

データのバックアップについて

重要な内容は必ず、定期的にバックアップをとって保存してください。
バックアップとはハードディスクやソフトウェアの故障などでファイルが使用できなくなったときのために、あらかじめファイルを記録メディアなどにコピーしておくことです。
本製品は次のような場合、スリープ、休止状態が無効になり、本体内の記憶内容が変化し、消失するおそれがあります。

- 誤った使いかたをしたとき
- 静電気や電気的ノイズの影響を受けたとき
- 長期間使っていなかったために、バッテリー（バッテリーパック、時計用バッテリー）の充電量がなくなったとき
- 故障、修理、バッテリー交換のとき
- バッテリー駆動で使用しているときにバッテリーパックを取りはずしたとき
- メモリの取り付け／取りはずしをしたとき

記憶内容の変化／消失については、ハードディスクや記録メディアなどに保存した内容の損害については当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご承知ください。

お願い

- 本製品の内蔵ハードディスクにインストールされている、または付属の CD ／ DVD からインストールしたシステム（OS）、アプリケーション以外をインストールした場合の動作保証はできません。
- モデルによっては、Windows 7 または Windows Vista と、Windows XP の CD ／ DVD が付属している場合があります。本製品は、必ずどちらかの OS のみをインストールした状態でご使用ください。Windows 7 または Windows Vista と、Windows XP を一度に両方とも使用することはできません。
- Windows 7 Starter 搭載のモデルでは、Windows 7 Home Premium または Windows 7 Professional に搭載の一部の機能（Windows Aero インターフェース、リモートメディアストリーミング、拡張表示など）の機能はご利用になれません。
- Windows Vista Home Basic では、Windows Vista Home Premium、Windows Vista Business に搭載の一部の機能（Windows Aero インターフェース、フリップ 3D など）はご利用になれません。
- Windows 標準のシステムツールまたは本書に記載している手順以外の方法で、パーティションを変更・削除・追加しないでください。ソフトウェアの領域を壊すおそれがあります。
- 内蔵ハードディスクにインストールされている、または付属の CD ／ DVD からインストールしたシステム（OS）、アプリケーションは、本製品でのみ利用できます。
- 購入時に定められた条件以外で、製品およびソフトウェアの複製もしくはコピーをすることは禁じられています。取り扱いには注意してください。
- 本製品に内蔵されている画像を、本製品での壁紙以外の用途に使用することを禁じます。
- パスワードを設定した場合は、忘れたときのために必ずパスワードを控えておいてください。パスワードを忘れてしまって、パスワードを解除できなくなった場合は、使用している機種（型番）を確認後、東芝 PC あんしんサポートに連絡してください。有償にてパスワードを解除します。
  HDD パスワードを忘れてしまった場合は、ハードディスクドライブは永久に使用できなくなり、交換対応となります。この場合も有償です。またどちらの場合も、身分証明書（お客様自身を確認できる物）の提示が必要となります。
- 本製品はセキュリティ対策のためのパスワード設定や、無線 LAN の暗号化設定などの機能を備えていますが、完全なセキュリティ保護を保証するものではありません。セキュリティの問題の発生や、生じた損害に関し、当社は一切の責任を負いません。
- 指紋認証機能は、正しくお使いいただいた場合でも、個人差により指紋情報が少ないなどの理由で、登録・使用ができない場合があります。
- 指紋認証機能は、データやハードウェアの完全な保護を保証してはおりません。本機能を利用したことによる、いかなる障害、損害に関して、一切の責任は負いかねますので、ご了承ください。

・ご使用の際は必ず本書をはじめとする取扱説明書と『エンドユーザー使用許諾契約書』および『ソフトウェアに関する注意事項』をお読みください。
・アプリケーション起動時に使用許諾書が表示された場合は、内容を確認し、同意してください。使用許諾書に同意しないと、アプリケーションを使用することはできません。一部のアプリケーションでは、一度使用許諾書に同意すると、以降起動時に使用許諾書は表示されなくなります。リカバリーを行った場合には再び使用許諾書が表示されます。
・『東芝保証書』は、記入内容を確認のうえ、大切に保管してください。

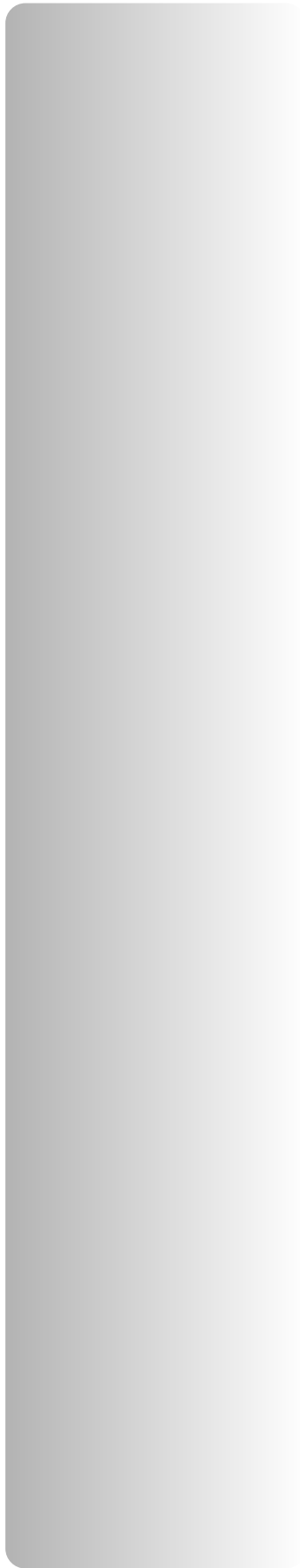
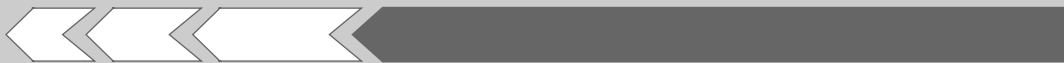
本製品のお客様登録（ユーザー登録）をあらかじめ行っていただくようお願いしております。当社ホームページで登録できます。

参照 詳細について 《オンラインマニュアル》

環境依存文字について

環境依存文字とは、入力した文字を漢字へ変換するときに表示される候補の右側に「環境依存文字」または「環境依存文字（unicode)」と表示されるものです。

（表示例）

ユーザーアカウント名やフォルダー名に環境依存文字が含まれていると、ファイルの読み込みや保存などが正常に動作しないことがあります。
ファイル名やファイル内の文字列に環境依存文字が含まれていると、ファイル名が「?」などのように正しく表示されず、正常に動作しないことがあります。
また、アプリケーション上でファイルの編集中に入力した文字列に環境依存文字が含まれていると、作成したファイル上で正しく表示されないことがあります。
このような場合には、環境依存文字を含まない文字列に変更してください。
CD／DVDなどの記録メディアにデータを書き込むときは、環境依存文字が含まれていないことをあらかじめ確認してから作業を行ってください。

1 章

パソコンの準備 －セットアップ－

この章では、Windows のセットアップ、電源の切りかた、ほかのマニュアルなどについて説明しています。

1 使う前に確認する

1 箱を開けたらまずはこれから

■箱の中身の確認■
『dynabook ＊＊＊＊（お使いの機種名）シリーズをお使いのかたへ』を参照して、付属品がそろっているか、確認してください。足りない物がある場合や、破損している物がある場合は、東芝 PC あんしんサポートにお問い合わせください。

参照 東芝 PC あんしんサポート 『東芝 PC サポートのご案内』

■型番と製造番号を確認■
パソコン本体の裏面に型番と製造番号が記載されています。保証書に同じ番号が記載されていることを確認してください。
番号が違う場合や、不備があった場合は、東芝 PC あんしんサポートにお問い合わせください。

参照 型番または製造番号の記載位置 『取扱説明書』

2 忘れずに行ってください

■使用する前に■
本製品を使用する前に、必ず本書をはじめとする各種説明書と『エンドユーザー使用許諾契約書』および『ソフトウェアに関する注意事項』を読んでください。

■保証書は大切に保管■
故障やトラブルが起こった場合、保証書があれば保証期間中（保証期間については保証書を確認してください）は東芝の無償（無料）保守サービスが受けられます。
保証書に記載の内容を読んで、確認したあと、大切に保管してください。

本書は、取扱説明書等の注意書きによる正常なご使用において故障した場合、裏面の「無料修理規定」に準じて、無料修理をお約束するものです。

★お買い上げ日(Purchase Date) 西暦 年 月 日
★お客様情報 お名前 フリガナ
ご住所 〒□□□-□□□□
電話:

本書は日本国内での保証と、ILW 対象製品（上記※欄に ILW が記載）の海外保証（制限付）を証明します（ILW については、対象製品に付属の「東芝 PC サポートのご案内」をご覧ください）。
If " ILW " appears at the top of this section, this product is covered by the ILW from the date of purchase for the period shown in parenthesis.
※本書の再発行はいたしませんので、紛失しないように大切に保管してください。
ご販売店様へ：必ずお買い上げ日、貴販売店名等をご記入の上、お客様にお渡しください。
★ご販売店名、住所、電話番号

株式会社 東芝 PC&ネットワーク社
PC第一事業部 （Printed in China）

■海外保証を受けるには■
海外で使用するときは「海外保証（制限付）」（ILW:International Limited Warranty）により、海外の所定の地域で、保証書に記載の無料修理規定および制限事項・注意事項の範囲内で修理サービスを利用できます。
利用方法、保証の詳細については『東芝 PC サポートのご案内』の記載内容および保証書に記載の無料修理規定を読んで、確認してください。

■ Product Key は大切に保管■
本製品には、パソコン用基本ソフト（OS）としてマイクロソフト社製の Windows が用意されています。この Windows にそれぞれ割り当てられている管理番号を「Product Key」といいます。
Product Key はパソコン本体に貼られているラベルに印刷されています。
このラベルは絶対になくさないようにしてください。再発行はできません。
紛失した場合、マイクロソフト社からの保守サービスが受けられなくなります。

2 最適な場所で使う

1 パソコンに最適な環境とは

人間にとって住みやすい温度と湿度の環境が、パソコンにも最適な環境です。
次の点に注意して置き場所、使う場所を決めてください。

- 安定した場所に置きましょう。
  不安定な場所に置くと、パソコンが落ちたり倒れたりするおそれがあり、故障やけがにつながります。
- 温度や湿度が高いところは避けましょう。
  暖房や加湿器の送風が直接あたる場所はよくありません。
- 強い磁気を発するものの近くで使用しないでください。
  磁石はもちろん、スピーカー、テレビの近くは磁気の影響を受けます。磁気ブレスレットなどもパソコンを使用するときははずすようにしましょう。
- 照明や日光があたる位置も考慮しましょう。
  照明や日光が直接ディスプレイにあたると、反射して画面が見づらくなります。
- ラジオやテレビの近くで使用しないでください。
  ラジオやテレビの受信障害を引き起こすことがあります。
- 無線通信装置から離してください。
  携帯電話も無線通信装置の一種です。
- パソコンの通風孔をふさがないように置きましょう。
  通風孔はパソコン本体内部の熱を外部に逃がすためのものです。ふさぐと、パソコン本体内部が高温となるため、本来の性能を発揮できない原因や故障の原因となります。

3 Windows セットアップ

初めて電源を入れたときは、Windows のセットアップを行う必要があります。
Windows のセットアップは、パソコンを使えるようにするために必要な操作です。
セットアップには約 10 ～ 30 分かかります。

作業を始める前に、付属の冊子『安心してお使いいただくために』を必ず読んでください。特に電源コードや AC アダプターの取り扱いについて、注意事項を守ってください。

お願い セットアップをするときの注意

■周辺機器は接続しないでください■

- セットアップは AC アダプターと電源コードのみを接続して行います。
  セットアップが完了するまでは、プリンター、マウスなどの周辺機器や LAN ケーブルは接続しないでください。

■途中で電源を切らないでください■

- セットアップの途中で電源スイッチを押したり電源コードを抜くと、故障や起動できない原因になり修理が必要となることがあります。

■操作は時間をあけないでください■

- セットアップ中にキー操作が必要な画面があります。時間をあけないで操作を続けてください。
  30 分以上タッチパッドやキーを操作しなかった場合、画面に表示される内容が見えなくなる場合がありますが、故障ではありません。もう 1 度表示するには、SHIFT キーを押すか、タッチパッドをさわってください。
  SHIFT キーやタッチパッドでは復帰せず、Power LED が点滅または消灯している場合は、電源スイッチを押してください。

■無線 LAN 機能をオンにしてください■

- 無線 LAN 機能を搭載しているモデルの場合、Windows セットアップを始める前にワイヤレスコミュニケーション LED が点灯していることを確認してください。
  ワイヤレスコミュニケーションスイッチが内蔵されているモデルは、ワイヤレスコミュニケーションスイッチが On 側にスライドされていることを確認してください。

本節では、Windows 7 のセットアップ、Windows Vista のセットアップと Windows XP のセットアップ方法を説明しています。お使いの機種の状態に合わせて、該当する OS の手順をご覧ください。

① Windows 7 のセットアップ

電源コードと AC アダプターを接続し、電源を入れてください。接続方法は『取扱説明書』を参照してください。
パソコンが起動したら、[Windows のセットアップ] 画面が表示されます。

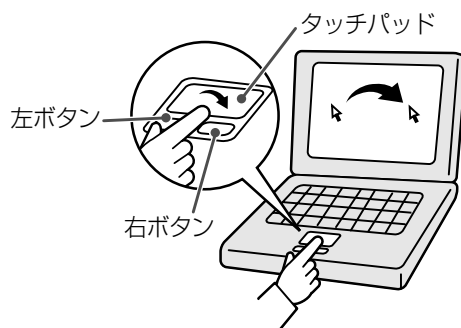
メモ

- [Windows のセットアップ] 画面が表示されるまで、しばらく時間がかかります。また、モデルによっては必要なアプリケーションをインストールしているメッセージ画面が表示される場合がありますが、この間に**絶対に電源を切らないようにしてください。**
- Windows のセットアップが完了するまで、音量の調節はできません。

1 **[国または地域] 欄に「日本」と表示されていることを確認し、[次へ] ボタンをクリックする**

役立つ操作集

クリックとは？

タッチパッドに指をおいて、上下左右に動かすと、指の動きに合わせてディスプレイ上の「 」（ポインター）が動きます。
目的の位置にポインターを合わせたあと、左ボタン（モデルによっては、ボタンの左側）を1回押す操作を「クリック」といいます。

ユーザー名とコンピューター名を入力する画面が表示されます。

Windows 7では、複数のユーザーが1台のパソコンを別々に使用することができます。
そのとき、使用するユーザーによって違う環境でWindowsを起動できるので、Windows起動時にどのユーザーが使用するのかを識別する必要があります。そのために、複数のユーザーが使用する場合は、ユーザーそれぞれを区別するための名前を登録します。
次の手順で入力するユーザー名は、管理者ユーザーを登録するためのものです。
管理者ユーザーとは、複数のユーザーでパソコンを使用する場合、全体を管理して、ほかのユーザーに使用制限を設定したりできるユーザーです。

2 ユーザーの名前を入力する

［ユーザー名を入力してください］と書いてある下の欄に、管理者ユーザーの名前を入力してください。
「dynabook」と入力するときは、キーボードでⒹⓎⓃⒶⒷⓄⓄⓀと押します。

■ キーを押しても表示されないときは
キーを押しても文字が表示されない場合は、入力欄に「｜」が点滅しながら表示されていることを確認してください。「｜」はカーソルといい、表示されている位置から文字などを入力できます。表示されていないときは、［ユーザー］欄をクリックしてください。

■ 入力を間違えたときは
- カーソルの左側の文字を削除する ：BACKSPACEキーを押す
- カーソルの右側の文字を削除する ：DELキーを押す

カーソルを左右に動かすには、←キーまたは→キーを押します。
ほかのユーザーは、あとで登録できます。

3 コンピューターの名前を入力する

コンピューターに名前をつけるのは、使用するパソコンをほかのパソコンと区別するためです。ネットワークに接続する場合は、必ず設定してください。
［コンピューター名を入力してください］と書いてある下の欄に、半角英数字で任意の文字列を入力してください。**半角英数字以外は使用しないでください。**またこのとき、同じネットワークに接続するコンピューターとは別の名前にしてください。

4 ［次へ］ボタンをクリックする

［ユーザーアカウントのパスワードを設定します。］画面が表示されます。

5 パスワードを入力する

［パスワードを入力してください］と書いてある下の欄に、Windowsログオンパスワードとして設定したい文字を入力してください。
Windowsログオンパスワードは半角英数字で127文字まで設定できますが、8文字以上で設定することをおすすめします。英字の場合、大文字と小文字は区別されます。
Windowsログオンパスワードを入力しないでそのまま次の画面へ進むこともできますが、セキュリティ上、設定することを強くおすすめします。

入力した文字は「●●●●●」で表示されるため、画面を見て確認することはできません。入力し間違えても画面ではわからないので、気をつけて入力してください。

6 パスワードをもう1度入力する

［パスワードをもう一度入力してください］と書いてある下の欄に、手順5で入力したWindowsログオンパスワードを、もう1度入力してください。

7 パスワードのヒントを入力する

設定したWindowsログオンパスワードを忘れてしまったときのために、ヒントを入力しておいて、パスワード入力画面で表示させることができます。
［パスワードのヒントの入力］と書いてある下の欄に、それを読めば自分だけはパスワードを思い出せるようなヒントを入力してください。

8 ［次へ］ボタンをクリックする

［ライセンス条項をお読みになってください］画面が表示されます。

9 マイクロソフトと東芝のライセンス条項の内容を確認し、それぞれの［ライセンス条項に同意します］の左にある□をクリックする

ライセンス条項に同意しないと、セットアップを続行することはできず、Windows 7およびコンピューターを使用することはできません。
表示されている条項文の続きを表示するには、画面の右側にある ▼ ボタンをクリックします。

10 ［次へ］ボタンをクリックする

［コンピューターの保護とWindowsの機能向上が自動的に行われるように設定してください］画面が表示されます。

11 ［推奨設定を使用します］をクリックする

［日付と時刻の設定の確認］画面が表示されます。

12 日付と時刻を確認する

コンピューターの内蔵時計の日付と時刻が合っているかどうか確認し、合っていない場合は、正しい内容に設定してください。
［タイムゾーン］は、欄の右にある ▼ をクリックして、表示された地名から「大阪、札幌、東京」をクリックしてください。
年・月の左右にある ◀ または ▶ をクリックすると、月ごとに順に表示が切り替わります。
年・月を合わせてから、下の該当する日をクリックしてください。
時刻表示の右にある ▲ または ▼ をクリックすると、順に数字が切り替わります。
変更したい時／分／秒をクリックしてから ▲ または ▼ をクリックしてください。

メモ

- 日付と時刻はWindowsセットアップ終了後に設定することもできます。
- 日付と時刻が合っていないと、本製品に用意されているウイルスチェックソフトなどの使用期限のあるアプリケーションでは、アプリケーションの設定後から適用される使用期限などが、正しく計測されないことがあります。そのため、この時点で、日付と時刻が合っていることを必ず確認してください。

参照 日付と時刻の設定 「Windowsのヘルプ」

13 ［次へ］ボタンをクリックする

無線LANモデルの場合、［ワイヤレスネットワークへの接続］画面が表示されます。
無線LAN機能を使ったネットワークへの接続は、セットアップ完了後に行えるので、ここでは省略した場合について説明します。
無線LANモデル以外のモデルの場合は、手順15に進んでください。

14 ［スキップ］ボタンをクリックする

15 ユーザーの設定が準備される

Windowsセットアップが終了すると、コンピューター内にユーザーの設定が用意されます。
しばらくお待ちください。

Windowsが起動します。

メモ

- パソコンを起動するときに流れるWindowsの起動音がまれに途切れる場合がありますが、故障ではありません。

役立つ操作集

日付と時刻の確認

日付と時刻は、画面右下の［通知領域］に表示されています。
正しく設定されているかどうか確認してください。
正しく設定されていない場合は、「Windows のヘルプ」を確認して設定してください。

Windows 7 でわからない操作があったとき

Windows 7 の使いかたについては、［スタート］ボタン（ ）→［ヘルプとサポート］をクリックして、「Windows のヘルプ」を参照してください。
Windows 7 の最新情報は次のホームページから確認できます。

- Windows 7 について
  URL：http://www.microsoft.com/japan/windows/default.mspx

Windows セットアップが終了したら

Windows セットアップが終了したら、次の操作を行っておくことをおすすめします。

- Windows を最新の状態にする
  「Windows Update」で更新プログラムをインストールしてください。

  参照 「Windows Update」について「Windows のヘルプ」

- リカバリーメディアを作成する
  リカバリーメディアでは、システムやアプリケーションをご購入の状態に復元（リカバリー）することができます。

  参照 リカバリーメディアの作成について 「本章 8 リカバリーメディアを作る」

なお、リカバリーメディアを使って実際にリカバリーを行うときは、操作の流れをよくご確認ください。

参照 リカバリーについて 「3 章 買ったときの状態に戻すには」

ドメインに接続する

＊ 7 Professional モデルの場合

企業内など、ある 1 つにまとまったネットワークをドメインと呼びます。
ここでは、本製品をドメインに接続する設定方法を説明します。
ドメインのユーザー名やパスワードなど、詳しい設定方法がわからない場合はネットワーク管理者にお問い合わせください。
本製品を複数のユーザーで使用している場合は Administrator と呼ばれる管理者のユーザーに切り替えてから設定を行ってください。

1 ［スタート］ボタン（ ）→［コントロールパネル］をクリックする

2 ［ システムとセキュリティ］をクリックする

3 ［システム］をクリックする

4 ［システムの詳細設定］をクリックする

［システムのプロパティ］画面が表示されます。

5 ［コンピューター名］タブで［変更］ボタンをクリックする

6 ［ドメイン］をチェックしてから接続するドメインの名前を入力し、［OK］ボタンをクリックする

7 ドメインの［ユーザー名］と［パスワード］を入力し、［OK］ボタンをクリックする

8 ［OK］ボタンをクリックする

9 ［OK］ボタンをクリックする

パソコンを再起動してください。

② Windows Vistaのセットアップ

電源コードとACアダプターを接続し、電源を入れてください。接続方法は『取扱説明書』を参照してください。
パソコンが起動したら、[Windowsのセットアップ]画面が表示されます。

メモ

- [Windowsのセットアップ]画面が表示されるまで、しばらく時間がかかります。また、モデルによっては必要なアプリケーションをインストールしているメッセージ画面が表示される場合がありますが、この間に**絶対に電源を切らないようにしてください。**
- Windowsのセットアップが完了するまで、音量の調節はできません。

1 **[国または地域]欄に「日本」と表示されていることを確認し、[次へ]ボタンをクリックする**

役立つ操作集

クリックとは？

タッチパッドに指をおいて、上下左右に動かすと、指の動きに合わせてディスプレイ上の「 」(ポインター)が動きます。
目的の位置にポインターを合わせたあと、左ボタンを1回押す操作を「クリック」といいます。

[ライセンス条項をお読みになってください]画面が表示されます。

2 **ライセンス条項の内容を確認し、[ライセンス条項に同意します]の左にある□をクリックする**

ライセンス条項に同意しないと、セットアップを続行することはできず、Windows Vistaを使用することはできません。
表示されている条項文の続きを表示するには、画面の右側にある ▼ ボタンをクリックします。

3 **[次へ]ボタンをクリックする**

[ユーザー名と画像の選択]画面が表示されます。

Windows Vistaでは、複数のユーザーが1台のパソコンを別々に使用することができます。
そのとき、使用するユーザーによって違う環境でWindowsを起動できるので、Windows起動時にどのユーザーが使用するのかを識別する必要があります。そのために、複数のユーザーが使用する場合は、ユーザーそれぞれを区別するための名前を登録します。
次の手順で入力するユーザー名は、管理者ユーザーを登録するためのものです。
管理者ユーザーとは、複数のユーザーでパソコンを使用する場合、全体を管理してほかのユーザーの使用制限を設定したりできるユーザーです。

4 **ユーザーの名前を入力する**

[ユーザー名を入力してください]と書いてある下の欄に、管理者ユーザーの名前を入力してください。
「dynabook」と入力するときは、キーボードでⒹⓎⓃⒶⒷⓄⓄⓀと押します。

■ キーを押しても表示されないときは
キーを押しても文字が表示されない場合は、入力欄に「｜」が点滅しながら表示されていることを確認してください。「｜」はカーソルといい、表示されている位置から文字などを入力できます。表示されていないときは、[ユーザー]欄をクリックしてください。

■ 入力を間違えたときは
- カーソルの左側の文字を削除する　：(BACKSPACE)キーを押す
- カーソルの右側の文字を削除する　：(DEL)キーを押す
　カーソルを左右に動かすには、(←)キーまたは(→)キーを押します。

ほかのユーザーは、あとで登録できます。

5 パスワードを入力する

［パスワードを入力してください］と書いてある下の欄に、Windows ログオンパスワードとして設定したい文字を入力してください。
Windows ログオンパスワードは半角英数字で 127 文字まで設定できますが、8 文字以上で設定することをおすすめします。英字の場合、大文字と小文字は区別されます。
Windows ログオンパスワードを入力しないでそのまま次の画面へ進むこともできますが、セキュリティ上、設定することを強くおすすめします。

入力した文字は「●●●●●」で表示されるため、画面を見て確認することはできません。入力し間違えても画面ではわからないので、気をつけて入力してください。
Windows ログオンパスワードを入力すると、すぐ下に［パスワードをもう一度入力してください］という入力欄が表示されます。

6 パスワードをもう 1 度入力する

［パスワードをもう一度入力してください］と書いてある下の欄に、手順 5 で入力した Windows ログオンパスワードを、もう 1 度入力してください。

7 パスワードのヒントを入力する

設定した Windows ログオンパスワードを忘れてしまったときのために、ヒントを入力しておいて、パスワード入力画面で表示させることができます。
［パスワードのヒントを入力してください］と書いてある下の欄に、それを読めば自分だけはパスワードを思い出せるようなヒントを入力してください。

8 使いたい画像をクリックする

どのユーザーであるのかを示すために、ユーザー名のほかに画像を登録することもできます。
画面下部の画像群から、使いたい画像をクリックしてください。

9 ［次へ］ボタンをクリックする

［コンピュータ名を入力して、デスクトップの背景を選択してください。］画面が表示されます。

10 コンピューターの名前を入力する

コンピューターに名前をつけるのは、使用するパソコンをほかのパソコンと区別するためです。ネットワークに接続する場合は、必ず設定してください。
［コンピュータ名を入力してください］と書いてある下の欄に、半角英数字で任意の文字列を入力してください。**半角英数字以外は使用しないでください。**またこのとき、同じネットワークに接続するコンピューターとは別の名前にしてください。

11 背景にしたい画像をクリックする

パソコンの画面（デスクトップといいます）の背景を設定します。
画面下部の画像群から、使いたい画像をクリックしてください。
クリックすると、選択した画像が実際の背景に表示されます。

12 ［次へ］ボタンをクリックする

［Windows を自動的に保護するよう設定してください］画面が表示されます。

13 ［推奨設定を使用します］をクリックする

［時刻と日付の設定の確認］画面が表示されます。

14 時刻と日付を確認する

コンピューターの内蔵時計の時刻と日付が合っているかどうか確認し、合っていない場合は、正しい内容に設定してください。
［タイムゾーン］は、欄の右にある ▼ をクリックして、表示された地名から「大阪、札幌、東京」をクリックしてください。
年・月の左右にある ◀ または ▶ をクリックすると、月ごとに順に表示が切り替わります。
年・月を合わせてから、下の該当する日をクリックしてください。
時刻表示の右にある ▲ または ▼ をクリックすると、順に数字が切り替わります。
変更したい時／分／秒をクリックしてから ▲ または ▼ をクリックしてください。

メモ

- 時刻と日付は Windows セットアップ終了後に設定することもできます。
- 時刻と日付が合っていないと、本製品に用意されているウイルスチェックソフトなどの使用期限のあるアプリケーションでは、アプリケーションの設定後から適用される使用期限などが、正しく計測されないことがあります。そのため、この時点で、時刻と日付が合っていることを必ず確認してください。

参照 時刻と日付の設定 「Windows のヘルプ」

15 ［次へ］ボタンをクリックする

［ありがとうございます］画面が表示されます。

16 ［開始］ボタンをクリックする

Windows セットアップが終了すると、コンピューターのパフォーマンスを確認する画面が表示されます。

メモ

- パソコンを起動するときに流れる Windows の起動音がまれに途切れる場合がありますが、故障ではありません。

役立つ操作集

時刻と日付の確認

時刻は、画面右下の［通知領域］に表示されています。日付は、時刻表示部分にポインターを合わせると表示されます。正しく設定されているかどうか確認してください。
正しく設定されていない場合は、「Windows のヘルプ」を確認して設定してください。

Windows Vista でわからない操作があったとき

Windows Vista の使いかたについては、［スタート］ボタン（ ）→［ヘルプとサポート］をクリックして、「Windows のヘルプ」を参照してください。
Windows Vista の最新情報は次のホームページから確認できます。

- Windows Vista について
  URL：http://www.microsoft.com/japan/windowsvista/

Windows セットアップが終了したら

Windows セットアップが終了したら、次の操作を行っておくことをおすすめします。

- Windows を最新の状態にする
  「Windows Update」で更新プログラムをインストールしてください。

  参照 「Windows Update」について「Windows のヘルプ」

- HDD リカバリー機能搭載モデルでは、リカバリーディスクを作成する
  リカバリーディスクでは、システムやアプリケーションをご購入の状態に復元（リカバリー）することができます。

  参照 リカバリーディスクの作成について 「本章 8 リカバリーメディアを作る」

なお、リカバリーディスクを使って実際にリカバリーを行うときは、操作の流れをよくご確認ください。

参照 リカバリーについて 「3 章 買ったときの状態に戻すには」

ドメインに接続する

＊ Vista Business モデルの場合

企業内など、ある 1 つにまとまったネットワークをドメインと呼びます。
ここでは、本製品をドメインに接続する設定方法を説明します。
ドメインのユーザー名やパスワードなど、詳しい設定方法がわからない場合はネットワーク管理者にお問い合わせください。
本製品を複数のユーザーで使用している場合は Administrator と呼ばれる管理者のユーザーに切り替えてから設定を行ってください。

1 ［スタート］ボタン（ ）→［コントロールパネル］をクリックする

2 ［システムとメンテナンス］をクリックする

3 ［システム］をクリックする

4 ［設定と変更］をクリックする

［システムのプロパティ］画面が表示されます。

5 ［コンピュータ名］タブで［変更］ボタンをクリックする

6 ［ドメイン］の左にある○をクリックしてから接続するドメインの名前を入力し、［OK］ボタンをクリックする

7 ドメインの［ユーザー名］と［パスワード］を入力し、［OK］ボタンをクリックする

8 ［OK］ボタンをクリックする

9 ［OK］ボタンをクリックする

パソコンを再起動してください。

③ Windows XP のセットアップ

電源コードと AC アダプターを接続し、電源を入れてください。
接続方法は『取扱説明書』を参照してください。
パソコンが起動したら、[Microsoft Windows へようこそ] 画面が表示され、音楽が流れます。

メモ

- [Microsoft Windows へようこそ] 画面が表示されるまでの間に、モデルによっては必要なアプリケーションをインストールしているメッセージ画面が表示される場合がありますが、この間に**絶対に電源を切らないようにしてください。**
- Windows のセットアップが完了するまで、音量の調節はできません。

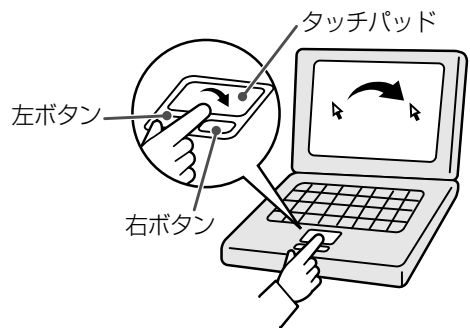
1 [次へ] ボタンをクリックする

画面右下の ? ボタンをクリックするか(F1)キーを押すと、Windows セットアップのヘルプが表示されます。

[使用許諾契約] 画面が表示されます。

役立つ操作集

クリックとは？

タッチパッドに指をおいて、上下左右に動かすと、指の動きに合わせてディスプレイ上の「 」(ポインター) が動きます。
目的の位置にポインターを合わせたあと、左ボタンを 1 回押す操作を「クリック」といいます。

2 [使用許諾契約] の内容を確認して [同意します] の左にある○をクリックし、[次へ] ボタンをクリックする

契約に同意しなければ、セットアップを続行することはできず、Windows XP を使用することはできません。
▼ ボタンをクリックすると契約書の続きを表示できます。

[コンピュータを保護してください] 画面が表示されます。

3 [自動更新を有効にし、コンピュータの保護に役立てます] の左にある○をクリックし、[次へ] ボタンをクリックする

[コンピュータに名前を付けてください] 画面が表示されます。

4 [このコンピュータの名前] にコンピューター名を入力し、[次へ] ボタンをクリックする

半角英数字で任意の文字列を入力してください。**半角英数字以外は使用しないでください。**このとき、同じネットワークに接続するコンピューターとは別の名前にしてください。企業で本製品を使用する場合は、ネットワーク管理者に問い合わせてください。
XP Home モデルの場合は、[インターネットに接続する方法を指定してください。] 画面が表示されます。手順 8 へ進んでください。
XP Pro モデルの場合は、[管理者パスワードを設定してください] 画面が表示されます。

5 [管理者パスワード] と [パスワードの確認入力] にパスワードを入力する

Administrator と呼ばれる管理者のユーザーアカウントのパスワードを設定します。管理者のユーザーアカウントでは、コンピューターにフルアクセスできます。
パスワードには、半角の英数文字および記号を使用することができます。パスワードは大文字と小文字が区別されますので注意してください。例えば「PASSWORD」と「password」は別のパスワードとして識別されます。
[管理者パスワード] 欄での入力後、(TAB)キーを押すと「|」が [パスワードの確認入力] 欄に移動します。「|」はカーソルといい、表示されている位置から文字などを入力できます。

6 ［次へ］ボタンをクリックする

［このコンピュータをドメインに参加させますか？］画面が表示されます。
ドメインの設定は、セットアップ完了後に行えますので、ここでは省略した場合について説明します。

7 ［いいえ、このコンピュータをドメインのメンバにしません］の左にある○をクリックし、［次へ］ボタンをクリックする

［インターネットに接続する方法を指定してください。］画面が表示されます。［インターネットに接続する方法を指定してください。］画面ではなく［インターネット接続が選択されませんでした］画面が表示されることもあります。
画面が表示される前に、［インターネット接続を確認しています］画面が表示されることがあります。そのまま次の画面が表示されるのをお待ちください。
インターネット接続の設定は、セットアップ完了後に行えるので、ここでは省略した場合について説明します。

8 ［省略］ボタンをクリックする

［インターネット接続が選択されませんでした］画面が表示された場合も、［省略］ボタンをクリックしてください。
［Microsoft にユーザー登録する準備はできましたか？］画面が表示されます。
マイクロソフト社へのユーザー登録は、市販の Windows XP を購入された場合のみ必要ですので、ここでは省略した場合について説明します。

9 ［いいえ、今回はユーザー登録しません］の左にある○をクリックし、［次へ］ボタンをクリックする

［このコンピュータを使うユーザーを指定してください］画面が表示されます。

10 ［ユーザー 1］欄に使う人の名前を入力する

［ユーザー 1］欄にポインターを合わせてクリックすると、「｜」（カーソル）が点滅します。

Windows XP では複数のユーザーを設定し、それぞれのユーザーごとに別々の環境を構築できますが、ここでは 1 人の名前だけ入力した場合について説明します。

メモ ローマ字入力で入力する場合

- 半角英数字で「dynabook」と入力したいときは、はじめにキーボードの(半／全)キーを押して、日本語入力システム Microsoft IMEの日本語入力モードをオフにしてから、(D)(Y)(N)(A)(B)(O)(O)(K)と押します。
キーを押しても文字が表示されない場合は、［ユーザー］欄に「｜」（カーソル）が表示され点滅していることを確認してください。表示されていないときは、［ユーザー］欄をクリックしてください。
文字の入力を間違えたら、(BACKSPACE)キーを押して入力ミスした文字を削除します。

11 ［次へ］ボタンをクリックする

［設定が完了しました］画面が表示されます。

12 ［完了］ボタンをクリックする

Windows のセットアップが終了するとパソコンが自動的に再起動します。

役立つ操作集

日付と時刻の設定

購入後初めてセットアップを終えたあとは、次の手順で日付と時刻を合わせてください。
日付と時刻が合っていないと、本製品に用意されているウイルスチェックソフトなどの使用期限があるアプリケーションでは、アプリケーションの設定後から適用される使用期限などが、正しく計測されないことがあります。そのため、日付と時刻は必ず合わせてください。

①［スタート］ボタンをクリックし、表示されたメニューから［コントロールパネル］をクリックする
②［日付、時刻、地域と言語のオプション］をクリックする
③［日付と時刻］をクリックする
［日付と時刻のプロパティ］画面が表示されます。
④［日付］欄の ▲ または ▼ をクリックして年号を合わせる
⑤［日付］欄の ▼ をクリックして月を合わせる
⑥［日付］欄のカレンダーで日をクリックする
⑦［時刻］欄の ▲ または ▼ をクリックして時刻を合わせる
変更する時／分／秒をクリックしてから、▲ または ▼ をクリックします。
⑧［OK］ボタンをクリックする
時刻は、画面右下の［通知領域］に表示されています。日付は、時刻表示部分にポインターを合わせるとしばらくして表示されます。正しく設定されているかどうか確認してください。

Windows XPでわからない操作があったとき

Windows XPの使いかたについては、[スタート]→[ヘルプとサポート]をクリックして、『ヘルプとサポート センター』を参照してください。
Windows XPの最新情報やアップデートの情報は次のホームページから確認できます。

- Windows XPについて
  URL：http://www.microsoft.com/japan/windowsxp/
- Windows XPのアップデート
  URL：http://windowsupdate.microsoft.com/

Windowsセットアップが終了したら

Windowsセットアップが終了したら、次の操作を行っておくことをおすすめします。

- Windowsを最新の状態にする
  「Windows Update」で更新プログラムをインストールしてください。

参照 「Windows Update」について「Windowsのヘルプ」

ドメインに接続する

＊XP Proモデルのみ

企業内など、ある1つにまとまったネットワークをドメインと呼びます。
ここでは、本製品をドメインに参加させる方法を説明します。
ドメインのユーザー名やパスワードなど、詳しい設定方法がわからない場合はネットワーク管理者にお問い合わせください。
本製品を複数のユーザーで使用している場合はAdministratorと呼ばれる管理者のユーザーに切り替えてから設定を行ってください。

1 **[スタート]→[コントロールパネル]をクリックする**

2 **[パフォーマンスとメンテナンス]をクリックする**

3 **[コンピュータの基本的な情報を表示する]をクリックする**
[システムのプロパティ]画面が表示されます。

4 **[コンピュータ名]タブで[変更]ボタンをクリックする**

5 **[ドメイン]の左にある○をクリックしてから接続するドメインの名前を入力し、[OK]ボタンをクリックする**

6 **ドメインの[ユーザー名]と[パスワード]を入力し、[OK]ボタンをクリックする**

7 **[OK]ボタンをクリックする**

8 **[OK]ボタンをクリックする**
パソコンを再起動してください。

④「東芝サービスステーション」について

＊東芝サービスステーション搭載モデルのみ

「東芝サービスステーション」は、ソフトウェアのアップデートや重要なお知らせを自動的に提供するためのソフトウェアです。
このソフトウェアは動作に必要な機器の識別情報などを当社のサーバーへ送信します。
使用できるように設定する前に、詳しい内容を説明した使用許諾書が表示されますので、よくお読みください。

メモ

- 「東芝サービスステーション」を使用するには、インターネットに接続できる環境が必要です。
- 「東芝サービスステーション」は、本製品に用意されているアプリケーション、ユーティリティ、ドライバーやBIOSのうち、一部についてアップデートをお知らせします。「dynabook.com」、「Microsoft Update」などのサイトにアクセスし、よくあるご質問（FAQ）やウイルス・セキュリティ情報などとあわせてご利用ください。

インストール方法

＊ インストールされていないモデルのみ

「東芝サービスステーション」は、購入時の状態ではインストールされていません。次の手順でインストールしてください。

1 **［スタート］ボタン（ ）→［すべてのプログラム］→［アプリケーションの再インストール］をクリックする**

2 **［セットアップ画面へ］をクリックする**

3 **［東芝ユーティリティ］タブをクリックする**

4 **画面左側の［TOSHIBA Service Station］または［東芝サービスステーション］をクリックし、［「東芝サービスステーション」のセットアップ］をクリックする**

5 **画面の指示に従ってインストールする**

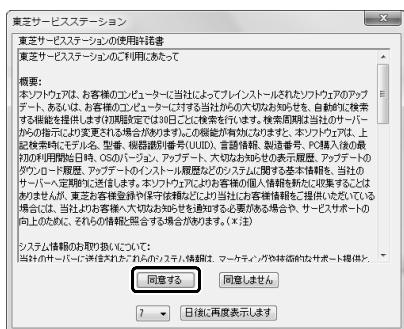
［ファイルのダウンロード］画面が表示された場合は、［実行］ボタンをクリックしてください。

設定方法

「東芝サービスステーション」を使用できるように設定する方法は、次のとおりです。

1 **パソコン起動後、しばらくしてから通知領域に表示されるメッセージを確認する**

メッセージ「東芝から重要なお知らせがあります。ココを確認してください。」が表示されるので、このメッセージを確認してください。
または、［スタート］ボタン（ ）→［すべてのプログラム］→［TOSHIBA］→［ユーティリティ］→［サービスステーション］をクリックしてください。
初めて起動したときは、本ソフトウェアに関する詳しい説明（使用許諾書）が表示されます。

2 **内容を確認し、［同意する］ボタンをクリックする**

使用許諾書に同意すると、以降はソフトウェアのアップデートや当社からのお知らせを検出する機能が、パソコンを起動すると自動的に動作します。

使用方法

■ソフトウェアのアップデートがある場合■
本製品に用意されているアプリケーション、ユーティリティ、ドライバーや BIOS にアップデートがあることを検知すると、メッセージ「X 件の新しいソフトウェアのアップデート（更新）があります。」が表示されます。
メッセージを確認し、画面の指示に従って操作してください。

■本製品に対するお知らせがある場合■
本製品に対する当社からのお知らせが準備されたことを検出すると、メッセージ「X 件の新しいお知らせがあります。」が表示されます。
メッセージを確認し、画面の指示に従って操作してください。
手動で、ソフトウェアのアップデート、またはお知らせを確認したい場合は、［スタート］ボタン（ ）→［すべてのプログラム］→［TOSHIBA］→［ユーティリティ］→［サービスステーション］をクリックし、［すべてのアップデートを確認］ボタンをクリックしてください。

使い終わったら –Windows 7の場合–

パソコンを使い終わったとき、電源を完全に切る「シャットダウン」を行ってください。中断するときは、それまでの作業をメモリに保存して一時的に中断する「スリープ」という方法があります。

⚠警告

- 電子機器の使用が制限されている場所ではパソコンの電源を切る
  パソコン本体を航空機や電子機器の使用が制限されている場所（病院など）に持ち込む場合は、無線機能を無効に設定した上で、パソコンの電源を切ってください。他の機器に影響を与えることがあります。
  ・無線機能は、機種によってワイヤレスコミュニケーションスイッチまたはBIOSセットアップで無効にすることができます。ワイヤレスコミュニケーションスイッチまたはBIOSセットアップで無線機能を無効に設定し、ワイヤレスコミュニケーションLEDが消灯しているのを確認してください。
  ・スリープや休止状態では、パソコンが自動的に動作することがあるため、飛行を妨げたり、他のシステムに影響を及ぼしたりすることがあります。
  ・電源を切った状態でもパソコンが自動的に動作するような設定のソフトウェアの場合は、あらかじめ設定を無効に（解除）してください。

① 電源を切る

パソコンを使わないときは、スリープではなく電源を切ってください。
間違った操作を行うと、故障したり大切なデータを失うおそれがあります。

お願い 電源を切る前に

- 必要なデータは必ず保存してください。保存されていないデータは消失します。
- 起動中のアプリケーションは終了してください。
- Disk LED、ディスクトレイLED、またはメディアのLEDが点灯中は、電源を切らないでください。データが消失するおそれがあります。

電源を切るには、次のように操作してください。

1 ［スタート］ボタンをクリックする

2 ［シャットダウン］をクリックする

Windowsを終了したあと、パソコンの電源が自動的に切れます。
パソコン本体の電源が切れると、Power LEDが消灯します。

お願い 電源を切ったあとは

- パソコン本体に接続している機器（周辺機器）の電源は、パソコン本体の電源を切ったあとに切ってください。
- ディスプレイは静かに閉じてください。強く閉じると衝撃でパソコン本体が故障する場合があります。
- パソコン本体や周辺機器の電源は、切ったあとすぐに入れないでください。故障の原因となります。

■再起動
Windows を終了したあと、すぐにもう 1 度起動することを「再起動」といいます。パソコンの設定を変えたときやパソコンがスムーズに動かなくなってしまったときなどに行います。
再起動するには、次のように操作してください。

①［スタート］ボタン（ ）をクリックし、 をクリックする
②表示されたメニューから［再起動］をクリックする

② スリープにする

パソコンの使用を中断する場合は、パソコンを「スリープ」にしましょう。スリープ機能は、次に電源スイッチを押したときに素早く中断したときの状態を再現することができます。その場合スリープ中でもバッテリーを消耗しますので、AC アダプターを取り付けておくことを推奨します。
スリープには、通常のスリープのほかに「ハイブリッド スリープ」という機能もあります。作業を中断している間にバッテリーの残量が少なくなった場合などは、通常のスリープでは保存されていないデータは消失します。ハイブリッド スリープを有効にすると、データは保持されます。

参照 ハイブリッド スリープ 「本項 2 スリープ機能を強化する」

なお数日以上使用しないときや、付属の説明書で電源を切る手順が記載されている場合（メモリの取り付け／取りはずしや、バッテリーパックの取り付け／取りはずしなど）は、スリープではなく、必ず電源を切ってください。

1 スリープの実行方法

1 ［スタート］ボタンをクリックする

2 ボタンをクリックし①、表示されたメニューから［スリープ］ボタンをクリックする②

2 スリープ機能を強化する

Windows 7 には、通常のスリープのほかに「ハイブリッド スリープ」という機能が用意されています。
パソコンの使用を中断したとき、それまでの作業をメモリに保存するスリープに対して、ハイブリッド スリープはメモリとハードディスクの両方に保存します。
作業を中断している間にバッテリーの残量が少なくなった場合などは、通常のスリープでは保存されていないデータは消失します。ハイブリッド スリープを有効にしておくと、ハードディスクから作業内容を復元できます。
ハイブリッド スリープを有効にしている状態でスリープを実行すると、ハイブリッド スリープとして機能します。
またスリープを実行してから一定時間が経過すると、自動的に休止状態に移行するようにも設定できます。

参照 休止状態 「Windows のヘルプ」

ハイブリッド スリープを有効にするには、次の手順で設定してください。

1 ［スタート］ボタン（ ）→［コントロールパネル］をクリックする

2 ［ハードウェアとサウンド］→［電源オプション］→選択している電源プランの［プラン設定の変更］をクリックする

［プラン設定の変更］は、各電源プランの右端に表示されています。選択している電源プランの右端に表示されている［プラン設定の変更］をクリックしてください。
ハイブリッド スリープの設定は、電源プランごとに必要です。
［プラン設定の編集］画面が表示されます。

3 ［詳細な電源設定の変更］をクリックする

［詳細設定］画面が表示されます。

4 ［スリープ］をダブルクリックし①、表示される項目から［ハイブリッド スリープを許可する］をダブルクリックする②

5 ハイブリッド スリープを有効にしたい状態をクリックする

それぞれの項目は、次のようになります。
［バッテリ駆動］：バッテリー駆動時にハイブリッド スリープ機能を有効にしたい場合
［電源に接続］　：電源に接続してるときにハイブリッド スリープ機能を有効にしたい場合

6 項目の横に表示された ▾ をクリックし①、表示されたメニューから［オン］をクリックする②

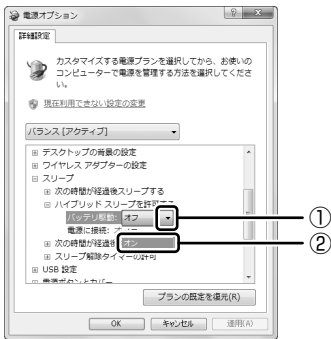
7 ［OK］ボタンをクリックする

これでハイブリッド スリープを有効にする設定は完了です。
この状態でスリープを実行すると、ハイブリッド スリープとして機能します。

役立つ操作集

一定時間の経過後、休止状態にする

スリープを実行してから一定時間が経過すると、自動的に休止状態に移行するよう設定できます。
［詳細設定］画面で［次の時間が経過後休止状態にする］をダブルクリックし、表示された項目を選択して▲ ▼で時間を設定してください。
スリープを実行してから設定した時間が経過すると、自動的に休止状態に移行します。

参照 ▶ 休止状態「Windows のヘルプ」

使い終わったら －Windows Vistaの場合－

パソコンを使い終わったとき、電源を完全に切る方法のほかに、それまでの作業をメモリに保存して一時的に中断する方法があります。この機能を、「スリープ」と呼びます。
スリープ機能は、次に電源スイッチを押したときに素早く中断したときの状態を再現することができます。その場合スリープ中でもバッテリーを消耗しますので、AC アダプターを取り付けておくことを推奨します。
なお数日以上使用しないときや、付属の説明書で電源を切る手順が記載されている場合（メモリの取り付け／取りはずしや、バッテリーパックの取り付け／取りはずしなど）は、スリープではなく、必ず電源を切ってください。

⚠警 告

- 電子機器の使用が制限されている場所ではパソコンの電源を切る
  パソコン本体を航空機や電子機器の使用が制限されている場所（病院など）に持ち込む場合は、無線機能を無効に設定した上で、パソコンの電源を切ってください。他の機器に影響を与えることがあります。
  ・無線機能は、機種によってワイヤレスコミュニケーションスイッチまたは BIOS セットアップで無効にすることができます。ワイヤレスコミュニケーションスイッチまたは BIOS セットアップで無線機能を無効に設定し、ワイヤレスコミュニケーション LED が消灯しているのを確認してください。
  ・スリープや休止状態では、パソコンが自動的に動作することがあるため、飛行を妨げたり、他のシステムに影響を及ぼしたりすることがあります。
  ・電源を切った状態でもパソコンが自動的に動作するような設定のソフトウェアの場合は、あらかじめ設定を無効に（解除）してください。

① スリープにする

パソコンの使用を中断する場合は、パソコンを「スリープ」にしましょう。スリープには、通常のスリープのほかに「ハイブリッド スリープ」という機能もあります。作業を中断している間にバッテリーの残量が少なくなった場合などは、通常のスリープでは保存されていないデータは消失します。ハイブリッド スリープを有効にすると、データが保持されます。

参照 ハイブリッド スリープ 「本項 2 スリープ機能を強化する」

1 スリープの実行方法

1 ［スタート］ボタンをクリックする

2 ［電源］ボタンをクリックする

2 スリープ機能を強化する

Windows Vista には、通常のスリープのほかに「ハイブリッド スリープ」という機能が用意されています。
パソコンの使用を中断したとき、それまでの作業をメモリに保存するスリープに対して、ハイブリッド スリープはメモリとハードディスクの両方に保存します。
作業を中断している間にバッテリーの残量が少なくなった場合などは、通常のスリープでは保存されていないデータは消失します。ハイブリッド スリープを有効にしておくと、ハードディスクから作業内容を復元できます。
ハイブリッド スリープを有効にしている状態でスリープを実行すると、ハイブリッド スリープとして機能します。
またスリープを実行してから一定時間が経過すると、自動的に休止状態に移行するようにも設定できます。

参照 休止状態 「Windows のヘルプ」

ハイブリッド スリープを有効にするには、次の手順で設定してください。

1 **［スタート］ボタン（ ）→［コントロールパネル］をクリックする**

2 **［バッテリ設定の変更］→選択している電源プランの［プラン設定の変更］をクリックする**

［プラン設定の変更］は、各電源プランの下に表示されています。選択している電源プランの下に表示されている［プラン設定の変更］をクリックしてください。
ハイブリッド スリープの設定は、電源プランごとに必要です。
［プラン設定の編集］画面が表示されます。

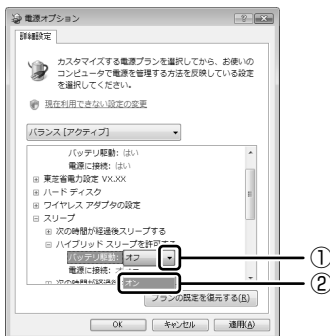
3 **［詳細な電源設定の変更］をクリックする**

［詳細設定］画面が表示されます。

4 **［スリープ］をダブルクリックし①、表示される項目から［ハイブリッドスリープを許可する］をダブルクリックする②**

5 **ハイブリッドスリープを有効にしたい状態をクリックする**

それぞれの項目は、次のようになります。
［バッテリ駆動］：バッテリー駆動時にハイブリッド スリープ機能を有効にしたい場合
［電源に接続］　：電源に接続してるときにハイブリッド スリープ機能を有効にしたい場合

6 **項目の横に表示された をクリックし①、表示されたメニューから［オン］をクリックする②**

7 **［OK］ボタンをクリックする**

これでハイブリッド スリープを有効にする設定は完了です。
この状態でスリープを実行すると、ハイブリッド スリープとして機能します。

役立つ操作集

一定時間の経過後、休止状態にする

スリープを実行してから一定時間が経過すると、自動的に休止状態に移行するよう設定できます。
［詳細設定］画面で［次の時間が経過後休止状態にする］をダブルクリックし、表示された項目を選択して▲ ▼で時間を設定してください。
スリープを実行してから設定した時間が経過すると、自動的に休止状態に移行します。

参照 休止状態「Windowsのヘルプ」

② 電源を切る

数日以上パソコンを使わないときは、スリープではなく電源を切ってください。
間違った操作を行うと、故障したり大切なデータを失うおそれがあります。

お願い　電源を切る前に

- 必要なデータは必ず保存してください。保存されていないデータは消失します。
- 起動中のアプリケーションは終了してください。
- Disk LED、ディスクトレイLED、またはメディアのLEDが点灯中は、電源を切らないでください。データが消失するおそれがあります。

電源を切るには、次のように操作してください。

1 ［スタート］ボタンをクリックする

2 ▶ ボタンをクリックし①、表示されたメニューから［シャットダウン］をクリックする②

Windowsを終了したあと、パソコンの電源が自動的に切れます。
パソコン本体の電源が切れると、Power LEDが消灯します。

お願い　電源を切ったあとは

- パソコン本体に接続している機器（周辺機器）の電源は、パソコン本体の電源を切ったあとに切ってください。
- ディスプレイは静かに閉じてください。強く閉じると衝撃でパソコン本体が故障する場合があります。
- パソコン本体や周辺機器の電源は、切ったあとすぐに入れないでください。故障の原因となります。

■再起動

Windowsを終了したあと、すぐにもう1度起動することを「再起動」といいます。パソコンの設定を変えたときやパソコンがスムーズに動かなくなってしまったときなどに行います。
再起動するには、電源を切る操作の手順2で、［再起動］をクリックしてください。

6 使い終わったら －Windows XPの場合－

① 電源を切る

電源を切る手順を覚えましょう。
間違った操作を行うと、故障したり大切なデータを失うおそれがあります。

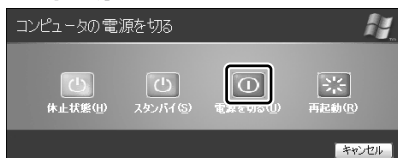
お願い 電源を切る前に

- 必要なデータは必ず保存してください。保存されていないデータは消失します。
- 起動中のアプリケーションは終了してください。
- Disk LED、ディスクトレイ LED、またはメディアの LED が点灯中は、電源を切らないでください。データが消失するおそれがあります。

1 ［スタート］ボタンをクリックし①、［終了オプション］をクリックする②

XP Pro モデルでドメイン参加している場合、［終了オプション］は［シャットダウン］と表示されます。

［コンピュータの電源を切る］画面が表示されます。

2 ［電源を切る］をクリックする

XP Pro モデルでドメイン参加している場合は、［Windows のシャットダウン］画面で ボタンをクリックし①、［シャットダウン］を選択し②、［OK］ボタンをクリックしてください。

参照 ドメインについて 「Windows のヘルプ」

Windows を終了したあと、パソコン本体の電源が自動的に切れます。
パソコン本体の電源が切れると、Power LED が消灯します。

お願い 電源を切ったあとは

- パソコン本体に接続している機器（周辺機器）の電源は、パソコン本体の電源を切ったあとに切ってください。
- ディスプレイは静かに閉じてください。強く閉じると衝撃でパソコン本体が故障する場合があります。
- パソコン本体や周辺機器の電源は、切ったあとすぐに入れないでください。故障の原因となります。

■再起動
Windowsを終了したあと、すぐにもう1度起動することを「再起動」といいます。パソコンの設定を変えたときやパソコンがスムーズに動かなくなってしまったときなどに行います。
再起動するには、電源を切る操作の手順2で、［再起動］をクリックしてください。

② スタンバイ／休止状態

パソコンの使用を一時的に中断したいとき、スタンバイまたは休止状態にすると、パソコンの使用を中断したときの状態が保存されます。
再び処理を行う（電源スイッチを押す、ディスプレイを開くなど）と、パソコンの使用を中断したときの状態が再現されます。

⚠警告

- **電子機器の使用が制限されている場所ではパソコンの電源を切る**
  パソコン本体を航空機や電子機器の使用が制限されている場所（病院など）に持ち込む場合は、無線機能を無効に設定した上で、パソコンの電源を切ってください。他の機器に影響を与えることがあります。
  ・無線機能は、機種によってワイヤレスコミュニケーションスイッチまたはBIOSセットアップで無効にすることができます。ワイヤレスコミュニケーションスイッチまたはBIOSセットアップで無線機能を無効に設定し、ワイヤレスコミュニケーションLEDが消灯しているのを確認してください。
  ・スタンバイや休止状態では、パソコンが自動的に動作することがあるため、飛行を妨げたり、他のシステムに影響を及ぼしたりすることがあります。
  ・電源を切った状態でもパソコンが自動的に動作するような設定のソフトウェアの場合は、あらかじめ設定を無効に（解除）してください。

お願い　操作にあたって

中断する前に
- スタンバイまたは休止状態を実行する前にデータを保存することを推奨します。
- スタンバイまたは休止状態を実行するときは、メディアへの書き込みが完全に終了していることを確認してください。書き込み途中のデータがある状態でスタンバイまたは休止状態を実行したとき、データが正しく書き込まれないことがあります。メディアを取り出しできる状態になっていれば書き込みは終了しています。

中断したときは
- スタンバイ中に次のことを行わないでください。次回電源を入れたときに、システムが起動しないことがあります。
  ・スタンバイ中にメモリの取り付け／取りはずしをすること
  ・スタンバイ中にバッテリーパックをはずすこと
  また、スタンバイ中にバッテリー残量が減少したときも同様に、次回起動時にシステムが起動しないことがあります。
  システムが起動しないときは、電源スイッチを5秒以上押していったん電源を切ったあと、もう一度電源を入れてください。この場合、スタンバイ前の状態は保持できていません（ResumeFailureで起動します）。
- スタンバイ中や休止状態では、バッテリーや周辺機器（増設メモリなど）の取り付け／取りはずしは行わないでください。保存されていないデータは消失します。また、感電、故障のおそれがあります。
- スタンバイまたは休止状態を利用しないときは、データを保存し、アプリケーションをすべて終了させてから、電源を切ってください。保存されていないデータは消失します。
- パソコン本体を航空機や病院に持ち込むとき、スタンバイを使用しないで、必ず電源を切ってください。スタンバイ状態のまま持ち込むと、パソコンの電波により、計器や医療機器に影響を与えることがあります。

1 スタンバイの実行方法

スタンバイとは、作業を中断したときの状態をメモリに保存する機能です。次に電源スイッチを押すと、状態を再現することができます。
スタンバイはすばやく状態が再現されますが、休止状態よりバッテリーを消耗します。バッテリーを使い切ってしまうと保存されていないデータは消失するので、AC アダプターを取り付けて使用することを推奨します。

1 ［スタート］ボタンをクリックし①、［終了オプション］をクリックする②

XP Pro モデルでドメイン参加している場合、［終了オプション］は［シャットダウン］と表示されます。

2 ［スタンバイ］をクリックする

XP Pro モデルでドメイン参加している場合は、［Windows のシャットダウン］画面で ボタンをクリックし、［スタンバイ］を選択して［OK］ボタンをクリックしてください。

メモリへの保存が終わると、画面が真っ暗になります。

3 Power LED がオレンジ点滅しているか確認する

- FN＋F3キーを押して、スタンバイを実行することもできます。

2 休止状態の実行方法

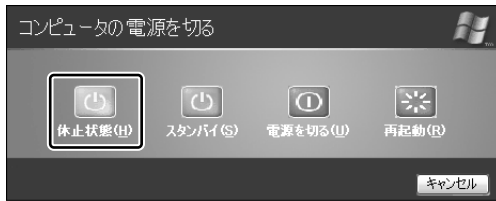
休止状態とは、作業を中断したときの状態をハードディスクに保存する機能です。次に電源を入れると、状態を復元できます。
購入時の設定では、バッテリーが消耗すると、パソコン本体は自動的に休止状態になります。休止状態が無効な場合はそのまま電源が切れるため、作業中のデータが消失するおそれがあります。バッテリー駆動（AC アダプターを接続しない状態）で使用する場合は、休止状態の設定をすることを推奨します。
購入時は、休止状態が有効に設定されています。

1 休止状態を有効に設定する

① ［コントロールパネル］を開き、［パフォーマンスとメンテナンス］をクリックする
② ［電源オプション］をクリックする
③ ［休止状態］タブで［休止状態を有効にする］をチェックする
④ ［OK］ボタンをクリックする
休止状態が有効になります。

2 ［スタート］ボタンをクリックし①、［終了オプション］をクリックする②

XP Pro モデルでドメイン参加している場合、［終了オプション］は［シャットダウン］と表示されます。

3 ［休止状態］をクリックする

XP Pro モデルでドメイン参加している場合は、［Windows のシャットダウン］画面で ボタンをクリックし、［休止状態］を選択して［OK］ボタンをクリックしてください。

メモ

- FN＋F4キーを押して、休止状態にすることもできます。

③ 簡単に電源を切る／パソコンの使用を中断する

［スタート］メニューから操作せずに、電源スイッチを押したときやディスプレイを閉じたときに、電源を切る（電源オフ）、またはスタンバイ／休止状態にすることができます。
休止状態にするには、あらかじめ設定が必要です。購入時は、休止状態が有効に設定されていますが、解除した場合は「本節 ②-2 手順 1」を参照して、設定してください。

1 電源スイッチを押す

1 電源スイッチを押したときの動作を設定する

① ［コントロールパネル］を開き、［パフォーマンスとメンテナンス］をクリック→［東芝省電力］をクリックする
② ［アクション設定］タブの［電源ボタンを押したとき］で［入力を求める］［スタンバイ］［休止状態］［シャットダウン］のいずれかを選択する
［何もしない］に設定すると、特に変化はありません。
③ ［OK］ボタンをクリックする

2 電源スイッチを押す

選択した状態で電源を切る、または作業を中断します。
手順 1 の②で［入力を求める］を選択したときは、［Windows のシャットダウン］画面または［コンピュータの電源を切る］画面が表示されます。［何もしない］を選択したときは、電源スイッチを押しても何も動作しません。

2 ディスプレイを閉じる

ディスプレイを閉じることによって［スタンバイ］［休止状態］のうち、あらかじめ設定した状態へ移行する機能を、パネルスイッチ機能といいます。購入時には［休止状態］に設定されています。変更する場合は次の手順を行ってください。

1 ディスプレイを閉じたときの動作を設定する

① ［コントロールパネル］を開き、［パフォーマンスとメンテナンス］をクリック→［東芝省電力］をクリックする
② ［アクション設定］タブの［コンピュータを閉じたとき］で［スタンバイ］［休止状態］のいずれかを選択する
［何もしない］に設定すると、パネルスイッチ機能は働きません。
③ ［OK］ボタンをクリックする

2 ディスプレイを閉じる

選択した状態で電源を切る、または作業を中断します。
手順 1 の②で［スタンバイ］または［休止状態］を選択したときは、次にディスプレイを開くと、自動的に状態が再現されます。

7 画面で見るマニュアル

Windows が起動しているときに、《オンラインマニュアル》をパソコン画面上で見ることができます。
《オンラインマニュアル》には、本製品の使用方法についての説明がより多く記載されています。

次のように操作すると、「Adobe Reader」が起動し、《オンラインマニュアル》が表示されます。
初めて「Adobe Reader」を起動したときは、［ソフトウェア使用許諾契約書］画面が表示されます。契約内容をお読みのうえ、［同意する］ボタンをクリックしてください。［同意する］ボタンをクリックしないと、「Adobe Reader」をご使用になれません。また、《オンラインマニュアル》を見ることはできません。

起動方法

1 デスクトップ上の［オンラインマニュアル］アイコン（ ）をダブルクリックする

《オンラインマニュアル》が起動します。

- 『取扱説明書』や『セットアップガイド（本書）』の内容も、パソコンの画面上で見ることができます。東芝 PC 総合情報サイト「dynabook.com（http://dynabook.com/pc/）」からダウンロードしてください。

リカバリーメディアを作る

本製品には、システムやアプリケーションを購入時の状態に復元するためのリカバリー（再セットアップ）ツールが搭載されています。「TOSHIBA Recovery Media Creator（TOSHIBA Recovery Disc Creator)」を使ってリカバリーメディアを作成し、あらかじめ、リカバリーツールのバックアップをとっておくことをおすすめします。
何らかのトラブルでハードディスクドライブからリカバリーできない場合でも、リカバリーメディアからリカバリーをすることができます。
リカバリーメディアがない状態で、ハードディスクドライブからリカバリーが行えない場合は、修理が必要になる可能性があります。東芝 PC あんしんサポートに相談してください。

■リカバリー（再セットアップ）とは■
リカバリー（再セットアップ）をすると、ハードディスクドライブ内に保存されているデータ（文書ファイル、画像・映像ファイル、メールやアプリケーションなど）はすべて消去され、設定した内容（インターネットやメールの設定、Windows ログオンパスワードなど）も購入時の状態に戻る、つまり何も設定していない状態になります。
詳細は、「3 章 1 リカバリーとは」を参照してください。
また、データのバックアップについては、普段から定期的に行っておくことをおすすめします。

リカバリーメディアを作成できる記録メディア

「TOSHIBA Recovery Media Creator（TOSHIBA Recovery Disc Creator)」では、次のメディアのいずれかを使用できます。
作成するメディアの種類は、メイン画面の［メディア構成］で確認できます。

- USB フラッシュメモリ*
- DVD-R
- DVD-R DL
- DVD-RW
- DVD+R
- DVD+R DL
- DVD+RW

＊「TOSHIBA Recovery Disc Creator」では、USB フラッシュメモリは使用できません。

外付けの DVD ドライブを接続して DVD を作成することもできます。
なお、サポートしているオプションの外付け DVD ドライブは、DVD スーパーマルチドライブ：IPCS110A です。

あらかじめバックアップ用のメディアを用意してください。
メイン画面の「情報」で表示されるものが、必要なメディアです。
DVD の場合は、必要な枚数が表示されます。複数枚使用する場合は、同じ規格のメディアで統一してください。
USB フラッシュメモリの場合は、リカバリーメディアの作成に最低限必要な容量が表示されます。
表示されるものより大きい容量の USB フラッシュメモリを用意してください。

お願い DVD について／DVD の使用推奨メーカー

＊使用できる DVD については、《オンラインマニュアル》を確認してください。
外付けの DVD ドライブを使用して作成する場合は、『DVD ドライブに付属の取扱説明書』を確認してください。

- 推奨するメーカーの DVD を使用してください。ドライブが内蔵されているモデルの DVD の使用推奨メーカーについては、『dynabook ＊＊＊＊（お使いの機種名）シリーズをお使いのかたへ』を確認してください。
- 書き込み速度に対応した DVD を使用してください。
- 規格に準拠した DVD を使用してください。

お願い リカバリーメディアの作成にあたって

- 「TOSHIBA Recovery Media Creator（TOSHIBA Recovery Disc Creator）」ではDVD-RAMを使用できません。
- 「TOSHIBA Recovery Media Creator（TOSHIBA Recovery Disc Creator）」を使ってリカバリーメディアなどを作成するときは、ほかのアプリケーションソフトをすべて終了させてから、行ってください。

DVDまたはUSBフラッシュメモリに書き込みを行うときは、次の注意をよく読んでから使用してください。
守らずに使用すると、書き込みに失敗するおそれがあります。また、ドライブへのショックなど本体異常や、メディアの状態などによっては処理が正常に行えず、書き込みに失敗することがあります。

- 書き込みに失敗したメディアの損害については、当社は一切その責任を負いません。また、記憶内容の変化・消失など、メディアに保存した内容の損害および内容の損失・消失により生じる経済的損害といった派生的損害については、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
- DVDに書き込むときには、それぞれの書き込み速度に対応し、それぞれの規格に準拠したメディアを使用してください。また、推奨するメーカーのメディアを使用してください。

参照 DVDについて《オンラインマニュアル》『DVDドライブに付属の取扱説明書』

- バッテリー駆動で使用中に書き込みを行うと、バッテリーの消耗などによって書き込みに失敗するおそれがあります。必ずACアダプターを接続してパソコン本体を電源コンセントに接続して使用してください。
- 書き込みを行うときは、本製品の省電力機能が働かないようにしてください。また、スリープ、休止状態、シャットダウンまたは再起動を実行しないでください。

参照 省電力機能について《オンラインマニュアル》

- 次に示すような、ライティングソフトウェア以外のソフトウェアは終了させてください。
  ・スクリーンセーバー
  ・ウイルスチェックソフト
  ・ディスクのアクセスを高速化する常駐型ユーティリティ
  ・音楽CDやDVDの再生アプリケーション
  ・通信アプリケーション　など
  ソフトウェアによっては、動作の不安定やデータの破損の原因となります。
- タッチパッドを操作する、ウィンドウを開く、ユーザーを切り替える、画面の解像度や色数の変更など、パソコン本体の操作を行わないでください。
- パソコン本体に衝撃や振動を与えないでください。
- 書き込み中は、周辺機器の取り付け／取りはずしを行わないでください。

参照 周辺機器について《オンラインマニュアル》

- パソコン本体から携帯電話、およびほかの無線通信装置を離してください。

リカバリーメディアを作成するには、以降の説明を参照してください。

1 インストール方法

＊ インストールされていないモデルのみ

「TOSHIBA Recovery Media Creator（TOSHIBA Recovery Disc Creator）」は、購入時の状態ではインストールされていません。次の手順でインストールしてください。

1 **［スタート］ボタン（ ）→［すべてのプログラム］→［アプリケーションの再インストール］をクリックする**

2 **［セットアップ画面へ］をクリックする**

3 **［東芝ユーティリティ］タブをクリックする**

4 **画面左側の［TOSHIBA Recovery Media Creator］または［TOSHIBA Recovery Disc Creator］をクリックし、［「TOSHIBA Recovery Media Creator」のセットアップ］または［「TOSHIBA Recovery Disc Creator」のセットアップ］をクリックする**

5 **画面の指示に従ってインストールする**

［ファイルのダウンロード］画面が表示された場合は、［実行］ボタンをクリックしてください。

2 起動方法

外付けのDVDドライブでDVDのリカバリーメディアを作成する場合は、あらかじめ外付けのDVDドライブをパソコン本体に接続しておいてください。

参照 接続方法『DVDドライブに付属の取扱説明書』

1 ［スタート］ボタン（ ）→［すべてのプログラム］→［リカバリーメディア作成ツール］をクリックする

「TOSHIBA Recovery Media Creator」または「TOSHIBA Recovery Disc Creator」が起動し、次のメイン画面が表示されます。

（表示例）

記録メディアは、DVDの場合、画面に表示される枚数分が必要になります。「TOSHIBA Recovery Media Creator」で作成するUSBフラッシュメモリの場合、画面に表示されている容量が必要になります。

3 リカバリーメディアを作成する

1 ［タイトル］で作成するメディアをチェックする（ ）

チェックボックスにチェックがついているメディアを作成します。作成する必要のないメディアは、チェックをはずしてください。

2 ［作成］ボタンをクリックする

作成するリカバリーメディアの確認とメディアのセットを求める画面が表示されます。

3 メディアをセットする

参照 DVDのセット《オンラインマニュアル》
『DVDドライブに付属の取扱説明書』

参照 USBフラッシュメモリ《オンラインマニュアル》の「USB対応機器を使う」

4 ［OK］ボタンをクリックする

作成が開始され、［現在のメディア］に作成しているメディアの進捗状況が表示されます。
作成を途中で中止する場合は、［キャンセル］ボタンをクリックしてください。

DVDの場合、作成が終了すると、メディアが自動的に出てきます。
作成するメディアが複数枚ある場合は、メッセージに従ってメディアを入れ替えてください。

5 メッセージを確認し、［OK］ボタンをクリックする

メディア作成後は、作成したメディアの種類（リカバリーメディアなど）と番号がわかるように、メディアに目印をつけてください。たとえばDVDの場合、「リカバリーメディアXX（番号）」というように、レーベル面に油性のフェルトペンなどで記載してください。リカバリーをするとき、この番号通りにメディアを使用しないと、正しくリカバリーされません。必ずメディア番号がわかるようにして保管してください。

6 ［閉じる］ボタン（ ）をクリックする

メイン画面が閉じ、メディアの作成を終了します。リカバリーメディアからリカバリーをする操作手順については、「3章 2 リカバリー＝再セットアップをする」を参照してください。

参照 「TOSHIBA Recovery Media Creator（TOSHIBA Recovery Disc Creator）」のお問い合わせ先
『取扱説明書 付録2 お問い合わせ先』

Windows XPを使用するにあたって

本製品をWindows XPで使用する場合、《オンラインマニュアル》で紹介しているものと一部異なります。
ここでは、操作や仕様が異なるおもなアプリケーションの説明をします。システムやお使いのモデルのソフトウェア環境によっては、このほかにも各種説明書や《オンラインマニュアル》に記載された内容とは、一部動作が異なる場合があります。

「東芝省電力」について

「東芝省電力」は、次の手順で起動してください。

1 ［スタート］→［コントロールパネル］をクリックする

2 ［パフォーマンスとメンテナンス］をクリックする

3 ［東芝省電力］をクリックする

使いかたについては、ヘルプをご覧ください。

「東芝HWセットアップ」について

「東芝HWセットアップ」は、次の手順で起動してください。

1 ［スタート］→［コントロールパネル］をクリックする

2 ［プリンタとその他のハードウェア］をクリックする

3 ［東芝HWセットアップ］をクリックする

使いかたについては、ヘルプをご覧ください。

「Fn-esse」について

「Fn-esse」というアプリケーションの起動を簡単にするアプリケーションが用意されています。FNキーと特定のキーを押すことで、アプリケーションの起動をできるようにすることが可能です。あらかじめ特定のキーと起動するアプリケーションの設定が必要です。
起動するには、［スタート］→［すべてのプログラム］→［TOSHIBA］→［ユーティリティ］→［Fn-esse］をクリックしてください。
「Fn-esse」でFN＋1キーまたはFN＋2キーに何かの動作を登録していても、「TOSHIBA Smooth View」がインストールされていると使用できなくなります。

キーを使った便利な機能

各キーにはさまざまな機能が用意されています。いくつかのキーを組み合わせて押すと、いろいろな操作が実行できます。

【 FN キーを使った特殊機能キー 】

キー	内容
FN+ESC	スピーカーのミュート（消音）
FN+SPACE	本体液晶ディスプレイの解像度切替え
FN+TAB*1	ドライブの電源オン／オフ機能
FN+F1	インスタントセキュリティ（画面オフ）機能
FN+F2	省電力モードの設定
FN+F3	スタンバイ機能の実行
FN+F4	休止状態の実行
FN+F5	表示装置の切替え
FN+F6	本体液晶ディスプレイの輝度を下げる
FN+F7	本体液晶ディスプレイの輝度を上げる
FN+F8*1	無線通信機能の切替え
FN+F9	タッチパッド オン／オフ機能
FN+F10	キー前面左に印刷された、制御キーオン／オフ
FN+F11	キー前面右に印刷された文字の入力オン／オフ
FN+F12	スクロールロック状態
FN+↑	PGUP（ページアップ）
FN+↓	PGDN（ページダウン）
FN+←	HOME（ホーム）
FN+→	END（エンド）
FN+1*2	画面やアイコンなどの縮小
FN+2*2	画面やアイコンなどの拡大

＊1 モデルによって、この機能はサポートしておりません。
＊2「TOSHIBA Smooth View」をインストールしている場合のみ、使用できます。

【 特殊機能キー 】

特殊機能	キー	操作
タスクマネージャの起動	CTRL+ALT+DEL	［Windows タスクマネージャ］画面が表示されます。*1 アプリケーションやシステムの強制終了を行います。
画面コピー	PRTSC	現在表示中の画面をクリップボードにコピーします。
	ALT+PRTSC	現在表示中のアクティブな画面をクリップボードにコピーします。

＊1 XP Pro モデルでドメインに参加しているとき、ユーザーアカウントで「ようこそ画面を使用する」のチェックをはずした場合には、［Windows のセキュリティ］画面が表示されますので、［タスクマネージャ］ボタンをクリックしてください。

書き込みに使用できるアプリケーションについて

書き込みに使用できるアプリケーションとして「TOSHIBA Disc Creator」のほかに「TOSHIBA Direct Disc Writer」が用意されています。
「TOSHIBA Direct Disc Writer」を使用すると、［マイ コンピュータ］で目的のファイルやフォルダーをドライブにコピーすることで、DVD-RAM、DVD-RW、DVD+RW、CD-RW に書き込むことができます。
各メディアのフォーマットをする場合は、「TOSHIBA Direct Disc Writer Format Utility」を使用してください。
詳しくは、「TOSHIBA Direct Disc Writer」のヘルプを参照してください。
「TOSHIBA Direct Disc Writer」をはじめて使用するときは、インストールが必要です。

【インストール方法】

1 **［スタート］→［すべてのプログラム］→［アプリケーションの再インストール］をクリックする**

2 **［セットアップ画面へ］をクリックする**

3 **［東芝ユーティリティ］タブをクリックする**

4 **画面左側の［TOSHIBA Direct Disc Writer］をクリックし、［「TOSHIBA Direct Disc Writer」のセットアップ］をクリックする**

5 **画面の指示に従ってインストールする**

【「TOSHIBA Direct Disc Writer」のヘルプの起動方法】

1 **［スタート］→［すべてのプログラム］→［TOSHIBA］→［CD&DVD アプリケーション］→［Direct Disc Writer ヘルプ］をクリックする**

お願い 「TOSHIBA Direct Disc Writer」を使うために

＊「TOSHIBA Direct Disc Writer」を使うには、下記以外にもお願い事項があります。
《オンラインマニュアル》の付録に記載されている「CD ／ DVD に書き込む前に」とあわせてご覧ください。

- CD ／ DVD をフォーマットすると、CD ／ DVD 上のすべてのデータが失われます。内容を確認のうえ、フォーマットしてください。
- 「TOSHIBA Direct Disc Writer」はパケットライト形式での記録機能を備えたソフトです。「TOSHIBA Direct Disc Writer Format Utility」でフォーマット／書き込みしたメディアをほかのパケットライトソフトでは使用しないでください。また、ほかのパケットライトソフトでフォーマット／書き込みしたメディアに、「TOSHIBA Direct Disc Writer」で書き込みは行わないでください。ほかのパケットライトソフトでフォーマットしたメディアを「TOSHIBA Direct Disc Writer」で使用する場合は、「TOSHIBA Direct Disc Writer Format Utility」で完全フォーマットを行ってから使用してください。
- ファイルやフォルダーの「切り取り」→「貼り付け」は行わないでください。メディアやドライブに何らかの問題があった場合、もとのファイルやフォルダーが消失することがあります。
- 「TOSHIBA Direct Disc Writer」で書き込んだ DVD-RW メディアを「TOSHIBA Direct Disc Writer」がインストールされていないパソコンで読み出すには、DVD-RW メディアを「互換化」する必要があります。詳しくは「TOSHIBA Direct Disc Writer」のヘルプをご覧ください。DVD+RW、CD-RW メディアについては、「互換化」する必要はありません。
- 「TOSHIBA Direct Disc Writer Format Utility」でフォーマットされたメディア上にプログラムのセットアップファイルなどを保存し、そのメディア上からセットアップを実行しようとしたとき、エラーが発生することがあります。その場合は、セットアップに必要なファイルなどをいったんハードディスク上にコピーした状態で、ハードディスク上からセットアップを実行してください。
- 「TOSHIBA Direct Disc Writer」で CD-RW、DVD-RW、DVD+RW メディアに書き込んだファイルは、変更・削除することができます。

「TOSHIBA Direct Disc Writer」を使用する際は、ヘルプの「仕様および注意事項」をよくお読みください。

スーパーバイザーパスワードについて

スーパーバイザーパスワードを起動するときは、［スタート］→［ファイル名を指定して実行］をクリックして、「C:¥Program Files¥TOSHIBA¥Windows Utilities」フォルダーにある「¥SVPWTooL¥SVPW32.exe」か「¥SVPWTool¥TOSPU.exe」、または「¥SVPWUTIL.exe」を起動してください。

「指紋認証」について

「指紋認証」は次の手順で起動してください。

1 指紋を登録するユーザーアカウントでログオンする

2 ［スタート］→［すべてのプログラム］→［TrueSuite］→［TrueSuite］をクリックする

以降は、画面の指示に従って操作してください。詳しい操作方法については、「指紋認証ユーティリティ」のヘルプを参照してください。

【ヘルプの起動方法】

1 ［スタート］→［すべてのプログラム］→［TrueSuite］→［TrueSuite ヘルプ］をクリックする

使用できないアプリケーションについて

《オンラインマニュアル》をはじめとする各種説明書に記載されている以下のアプリケーションは、OSがWindows XPの場合は使用できません。

- TOSHIBA Flash Cards

2章

パソコンの動作がおかしいときは

パソコンの操作をしていて困ったときに、どうしたら良いかをQ&A形式で説明しています。

Q&A集

電源を入れるとき／切るとき

Q 電源スイッチを押しても反応しない

A 電源スイッチを押す時間が短いと電源が入らないことがあります。

電源スイッチの押しかたについては、『取扱説明書』を確認してください。

Q 1度電源が入りかけるがすぐに切れる 電源が入らない

（Battery LEDがオレンジ色に点滅しているとき）

A バッテリーの充電量が少ない可能性があります。

次のいずれかの対処を行ってください。

- 本製品用のACアダプターを接続して、電源を供給する
（他製品用のACアダプターは使用できません）
- 充電済みのバッテリーパックを取り付ける

参照 バッテリーの充電について
《オンラインマニュアル》

（DC IN LEDがオレンジ色に点滅しているとき）

A 電源の接続の接触が悪い可能性があります。

バッテリーパックやACアダプターを接続し直してください。

参照 バッテリーパックの取り付け／取りはずし
『取扱説明書』

参照 ACアダプターの接続『取扱説明書』

A パソコン内部の温度が一定以上に達すると保護機能が働き、システムが自動的に停止します。

パソコン本体が熱くなっている場合は、涼しい場所に移動するなどして、パソコンの内部温度が下がるのを待ってください。
また、通風孔をふさぐと、パソコンの温度は非常に上昇しやすくなります。通風孔のまわりには物を置かないでください。

A パソコン本体からいったん、電源コードとACアダプター、バッテリーパックをすべて取りはずしてください。

①電源コードとACアダプターを取りはずす
パソコンに接続している周辺機器も取りはずしてください。
②バッテリーパックを取りはずす
電源コードとACアダプター、バッテリーパックを取りはずすと、電源が入らない状態になります。そのままの状態で、しばらく放置してください。
③バッテリーパックを取り付ける
④電源コードとACアダプターを取り付けて、電源プラグをコンセントに差し込む
⑤電源を入れる

参照 電源コードとACアダプターの接続
『取扱説明書』

参照 バッテリーパックの取り付け／取りはずし
『取扱説明書』

以上の手順でも解決できない場合は、東芝PCあんしんサポートに連絡してください。

Q 電源を入れたが、システムが起動しない

A 起動ドライブをハードディスクドライブ以外に設定した場合に、システムの入っていないメディアがセットされている可能性があります。

システムが入っているメディアと取り替えるか、またはドライブからメディアを取り出してから、何かキーを押してください。
それでも正常に起動しない場合は、次のように操作してください。

①電源スイッチを5秒以上押して電源を切る
②F12キーを押しながら電源スイッチを押す
③［dynabook］または［TOSHIBA］画面が表示されたらF12キーから手をはなす
各種パスワードを設定している場合は、パスワードの入力をうながすメッセージが表示されます。
パスワードを入力してENTERキーを押してください。
④表示されたアイコンまたはメニューの中からシステムの入っているドライブ（通常はハードディスクドライブを示す項目）を←→キーまたは↑↓キーで選択し、ENTERキーを押す

A セーフ モードまたは前回正常に起動したときの構成で起動しなおすことができます。

電源スイッチを5秒以上押して強制終了したあと、起動しなおしてください。
起動方法については、『取扱説明書』を参照してください。

Q 使用中に前触れもなく突然電源が切れることがある

A パソコン内部の温度が一定以上に達すると保護機能が働き、システムが自動的に停止します。

パソコン本体が熱くなっている場合は、涼しい場所に移動するなどして、パソコンの内部温度が下がるのを待ってください。
また、通風孔をふさぐと、パソコンの温度は非常に上昇しやすくなります。通風孔のまわりには物を置かないでください。
それでも電源が切れる場合は、東芝 PC あんしんサポートに連絡してください。

A バッテリー駆動で使用している場合、バッテリーの充電量がなくなった可能性があります。

次のいずれかの対処を行ってください。

- 本製品用の AC アダプターを接続して、電源を供給する
（他製品用の AC アダプターは使用できません）
- 充電済みのバッテリーパックを取り付ける

参照 バッテリーの充電について《オンラインマニュアル》

Q しばらく操作しないとき、電源が切れる

A Power LED が点灯（点滅ではなく）している場合、表示自動停止機能が働いた可能性があります。（Pewer LED の色はモデルによって異なります）

画面には何も表示されませんが実際には電源が入っていますので、電源スイッチを押さないでください。
SHIFT キーや CTRL キーを押す、またはタッチパッドを操作すると表示が復帰します。外部ディスプレイを接続している場合、表示が復帰するまでに 10 秒前後かかることがあります。

**A Power LED がオレンジ色に点滅しているか、消灯の場合、自動的にスリープや休止状態になった可能性があります。
（Pewer LED の色はモデルによって異なります）**

一定時間パソコンを使用しないときに、自動的にスリープや休止状態にするように設定されています。
復帰させるには、電源スイッチを押してください。
また、次の手順で設定を解除できます。

Windows 7、Windows Vista の場合

①［コントロールパネル］を開き、［システムとセキュリティ］（Windows 7）または［システムとメンテナンス］（Windows Vista）をクリックする
②［電源オプション］をクリックする
③［電源プランの選択］で利用するプランを選択する
④選択したプランの［プラン設定の変更］をクリックし、［ディスプレイの電源を切る］および［コンピュータをスリープ状態にする］で［なし］を選択する
⑤［変更の保存］ボタンをクリックする

Windows XP の場合

①［コントロールパネル］を開き、［パフォーマンスとメンテナンス］をクリックする
②［東芝省電力］をクリックする
③［プロファイル］で利用するプロファイルを選択する
④［基本設定］タブで［システムスタンバイ］および［システム休止状態］のチェックをはずす
⑤［OK］ボタンをクリックする

画面／表示

Q 青い画面（ブルースクリーン）が表示され、操作できなくなった

A 電源スイッチを 5 秒以上押して Windows を強制終了してください。

システムが操作できなくなったとき以外は行わないでください。強制終了を行うと、スリープまたはスタンバイ／休止状態は無効になります。また、保存されていないデータは消失します。
強制終了したあと、電源を入れ直してください。

A 以上の手順でも解決できない場合は、「本項 - Q 再起動や電源を入れ直しても、トラブルが解消しない」を確認してください。

Q 画面表示が回転してしまった

A CTRL ＋ ALT ＋ ↑ キーを押してください。

正常な画面表示に戻ります。

システム／ハードディスク

Q パソコンが応答しなくなった

A アプリケーションを終了できない場合や、アプリケーションを終了してもトラブルが解消しない場合は、パソコンを再起動してください。

参照 再起動 Windows 7 の場合
「1 章 4- ① - 再起動」
再起動 Windows Vista の場合
「1 章 5- ② - 再起動」
再起動 Windows XP の場合
「1 章 6- ① - 再起動」

A Windows 起動時に問題が起きた場合や、パソコンを再起動できない場合は、電源スイッチを5秒以上押してWindowsを強制終了してください。

システムが操作できなくなったとき以外は行わないでください。強制終了を行うと、スリープまたはスタンバイ／休止状態は無効になります。また、保存されていないデータは消失します。
強制終了したあと、電源を入れ直してください。

A 以上の手順でも解決できない場合は、「本項 - Q 再起動や電源を入れ直しても、トラブルが解消しない」を確認してください。

Q Windows がセーフモードで起動した

A パソコンを再起動してください。

参照 再起動　Windows 7の場合
「1章 4-①- 再起動」
再起動　Windows Vistaの場合
「1章 5-②- 再起動」
再起動　Windows XPの場合
「1章 6-①- 再起動」

A 以上の手順でも解決できない場合は、「本項 - Q 再起動や電源を入れ直しても、トラブルが解消しない」を確認してください。

Q 再起動や電源を入れ直しても、トラブルが解消しない

A ドライバーやシステムのアップデート中（更新中）にトラブルが発生した場合は、直前の正常に起動したときの構成で起動してください。

参照 前回正常に起動したときの構成で起動する
「本項 - Q 電源を入れたが、システムが起動しない」

A アプリケーションをインストールしてから、この問題が発生するようになった場合は、インストールしたアプリケーションがWindowsの動作に影響している可能性があります。

アプリケーションをアンインストールしてください。

参照 『アプリケーションに付属の説明書』

A 周辺機器を接続してから、この問題が発生するようになった場合は、接続した周辺機器がWindowsの動作に影響している可能性があります。

周辺機器を取りはずしてください。周辺機器によっては、周辺機器に付属のドライバーやアプリケーションをパソコンにインストールしている場合があります。これらのドライバーやアプリケーションもアンインストールしてください。

参照 周辺機器の取り扱いについて
『周辺機器に付属の説明書』

指紋認証

＊ 指紋センサー搭載モデルのみ

Q 指紋の読み取りがうまくいかない

A もう一度正しい姿勢で操作してください。

詳しい操作方法は、『取扱説明書』《オンラインマニュアル》または「指紋認証ユーティリティ」のヘルプを参照してください。

A 登録してあるもう1本の指で読み取りを行ってください。

A どうしてもうまくいかない場合は、一時的にキーボードからパスワードを入力してください。

詳しい操作方法は、『取扱説明書』《オンラインマニュアル》または「指紋認証ユーティリティ」のヘルプを参照してください。

Q 指にけがをしたため指紋の読み取りができなくなった

A 登録してあるもう1本の指で読み取りを行ってください。

A 登録したすべての指の指紋が読み取れない場合は、一時的にキーボードからパスワードを入力してください。

詳しい操作方法は、『取扱説明書』《オンラインマニュアル》または「指紋認証ユーティリティ」のヘルプを参照してください。

Q 認識率が下がったら

A **指紋センサーの表面がよごれていないか確認してください。**

よごれている場合には、眼鏡ふき（クリーナークロス）などの柔らかい布で軽くふき取ってからもう一度指紋認証を行ってください。

参照 詳細について

『取扱説明書』《オンラインマニュアル》

A **指の状態を確認してください。**

指に傷があったり、手荒れ、極端に乾燥した状態、ふやけた状態など、指紋登録時と状態が異なると認識できない場合があります。認識率が改善されない場合は、ほかの指で登録してください。

参照 詳細について

『取扱説明書』《オンラインマニュアル》

A **指の置きかたを確認してください。**

指を指紋センサーと平行になるように置き、指紋センサーに指の中央を合わせてください。指紋センサーの上に第1関節がくるように置き、すべらせるときはゆっくりと一定の速さですべらせてください。それでも認証できない場合は、指をすべらせる速さを調整してください。

参照 詳細について

『取扱説明書』《オンラインマニュアル》

TPM

＊ TPM搭載モデルのみ

Q 誤ってTPMを初期化してしまった

A **バックアップウィザードを使用して、TPMの設定を復元してください。**

参照 TPMのヘルプ

『Infineon Security Platform ソリューション』

Q TPMを使用しているパソコンを、修理・保守に出したい

A **TPMを使用している場合、修理・保守に出す前に、バックアップウィザードを使用して、TPMをバックアップしてください。**

なお、修理・保守に出すと、TPMに故障がなくても、TPMが交換される場合があります。
その場合は、バックアップウィザードを使用して、TPMの設定を復元してください。

参照 TPMのヘルプ

『Infineon Security Platform ソリューション』

保守サービスについては、『東芝PCサポートのご案内』を確認してください。

メッセージ

Q 「Password=」と表示された

A **パスワードの入力、またはトークン＊1による認証が必要です。**

次のいずれかの操作を行ってください。

- パスワードを入力し、ENTERキーを押す
  あらかじめ「東芝パスワードユーティリティ」でパスワードファイルを記録メディアに保存しておくと、パスワードを忘れた場合に確認できます。ほかのパソコンの「メモ帳」などでパスワードファイルを開き、確認したパスワードを入力してください。
- あらかじめ「東芝パスワードユーティリティ」で作成したトークン＊1をブリッジメディアスロットまたはSDカードスロットに挿入し、認証を行う

  ＊1　トークン機能搭載モデルのみ

上記の方法を実行できない場合は、使用している機種を確認後、東芝PCあんしんサポートに連絡してください。有償にてパスワードを解除します。この場合、身分証明書（お客様自身を確認できる物）の提示が必要となります。

参照 パスワードについて 《オンラインマニュアル》

Q 「HDD Password=」、「Built-in HDD1 Password=」または「Enter HDD1 Password」と表示された

A HDD パスワードの入力による認証が必要です。

HDDパスワードを入力し、ENTERキーを押してください。

HDD パスワードを忘れてしまった場合は、ハードディスクドライブは永久に使用できなくなり、交換対応となります。この場合は有償になり、身分証明書（お客様自身を確認できる物）の提示が必要となります。

参照 HDD パスワードについて《オンラインマニュアル》

Q 「パスワードを入力してください。」または「パスワードを入力して下さい。」と表示された

A 「東芝 HW セットアップ」または BIOS セットアップで設定したパスワードを入力し、ENTERキーを押してください。

パスワードを忘れた場合は、使用している機種（型番）を確認後、東芝 PC あんしんサポートに連絡してください。有償にてパスワードを解除します。その際、身分証明書（お客様自身を確認できる物）の提示が必要となります。

Q 「… Hard Disk locked, enter HDD user password:(Press <ESC> to skip)」、または「… Hard Disk locked, enter HDD master password: (Press <ESC> to skip)」と表示された

A BIOS セットアップで設定した HDD パスワードを使って認証を行ってください。

設定している HDD ユーザーパスワードまたは HDDマスターパスワードを入力し、ENTERキーを押してください（ESCキーを押して操作を続けようとしても、Windows は起動できません）。
パスワードの入力に 3 回失敗した場合は、「… Hit ENTER to continue...」と表示されます。電源スイッチを 5 秒以上押してパソコンを強制終了し、電源を入れ直してください。

Q 「… Hard Disk locked, enter HDD user password:(Press <ESC> to switch to HDD Master Password)」と表示された

A BIOS セットアップで設定した HDD パスワードを使って認証を行ってください。

HDD ユーザーパスワードと HDD マスターパスワードの両方を設定している場合に、このメッセージが表示されます。
HDD ユーザーパスワードを使って認証する場合は、HDD ユーザーパスワードを入力してENTERキーを押してください。
HDD マスターパスワードを使って認証したい場合は、ESCキーを押すと、「… Hard Disk locked, enter HDD master password: (Press <ESC> to skip)」というメッセージに切り替わります。
HDD マスターパスワードを入力してENTERキーを押してください。
パスワードの入力に 3 回失敗した場合は、「… Hit ENTER to continue...」と表示されます。電源スイッチを 5 秒以上押してパソコンを強制終了し、電源を入れ直してください。

Q 「… WARNING: Continue booting with this drive being locked might cause system to hang with some OS. Hit ENTER to continue...」と表示された

A パソコンを強制終了し、電源を入れ直してください。

HDD パスワードの入力に 3 回失敗すると、このメッセージが表示されます。
電源スイッチを 5 秒以上押してパソコンを強制終了し、電源を入れ直してください
（メッセージには「Hit ENTER to continue...」と表示されていますが、キーを押して操作を続けようとしても Windows は起動できません）。
HDD パスワードを忘れてしまった場合は、ハードディスクドライブは永久に使用できなくなり、交換対応となります。この場合は有償です。その際、身分証明書（お客様自身を確認できる物）の提示が必要となります。

Q 電源を入れたとき、次のような指紋認証のメッセージが表示された

＊ 指紋センサー搭載モデルのみ

- 「Swipe finger to authorize access, or press BACKSPACE to enter BIOS password.」
- 「認証のため指でセンサーをなぞってください
BIOS パスワードを入力するためには、バックスペースを押してください」

A 指紋認証が必要です。

「指紋認証ユーティリティ」で起動認証機能を有効に設定していると、パスワードを設定している場合に表示されるメッセージの代わりに、指紋認証を行う画面が表示されます。指紋認証を行うと、起動認証機能によってパスワードの認証が行われます。
認証を５回失敗する、または BACKSPACE キーを押すと、パスワードの入力をうながすメッセージが表示されます。
指紋認証について詳しくは、《オンラインマニュアル》または「指紋認証ユーティリティ」のヘルプを参照してください。

Q 起動時に「Windows 再開ローダ」が表示され、Windows が起動しない

＊ Windows 7、Windows Vista のみ

A ハードウェアの接続に不具合が起きた、または何らかの原因で電源を切る前の状態を再現できなくなったというメッセージです。

休止状態のままメモリの取り付け／取りはずしをしたときなどに表示されます。
電源を切る前の状態は再現できません。
次の操作を行ってください。

①「Windows 再開ローダ」で「復元データを削除してシステムブートメニューに進む」が反転表示していることを確認し、ENTER キーを押す
②「Windows エラー回復処理」で「Windows を通常起動する」が反転表示していることを確認し、ENTER キーを押す
Windows が起動します。

Q 「New Password=」と表示された

A 新しいパスワードに登録／変更してください。

「東芝パスワードユーティリティ」の［スーパーバイザパスワード］タブで、［ユーザーポリシーの設定］画面の［ユーザーパスワードの登録／変更を強制する］をチェックすると、次のように設定されます。

・ユーザーパスワードが登録されていない場合
設定後の１回目の起動時に、「New Password=」と表示されます。
ユーザーパスワードの登録を行ってください。

・ユーザーパスワードが登録されている場合
設定後の起動時の「Password=」で、ユーザーパスワードを初めて入力したときに、「New Password=」と表示されます。
新しいユーザーパスワードに変更してください。

「Verify Password=」に「New Password=」で入力したパスワードをもう一度入力すると、ユーザーパスワードが登録／変更されます。
スーパーバイザーパスワードについて詳しくは、《オンラインマニュアル》を参照してください。

Q 画面が青くなり、次のようなメッセージが画面一面に表示された

- 「A problem has been detected and windows has been shut down to prevent damage to your computer.」

ハードウェアの接続に不具合が起きた、または何らかの原因で電源を切る前の状態を再現できなくなったというメッセージです。

休止状態のままメモリの取り付け／取りはずしをしたときなどに表示されます。電源を切る前の状態は再現できません。
次の操作を行ってください。

①電源スイッチを５秒以上押し、パソコンを強制終了する
②再び電源スイッチを押して、パソコンを再起動する
「システムを前の場所から再起動できませんでした。」というメッセージが表示されます。
③「復元データを削除してシステムブートメニューにすすみます」が反転表示していることを確認し、ENTER キーを押す
Windows が起動します。

Q 起動時に「RTC battery is low or CMOS checksum is inconsistent」「Press[F1] Key to set Date/Time.」と表示され、Windowsが起動できない

A 時計用バッテリーが不足しています。

時計用バッテリーは、ACアダプターを接続し電源を入れているときに充電されます。

参照 時計用バッテリーについて《オンラインマニュアル》

ACアダプターを接続後、次の手順でBIOSセットアップの日付と時刻を設定してください。

①(F1)キーを押す
BIOSセットアップ画面が表示されます。
②(↑)(↓)(←)(→)キーを使って、[SYSTEM DATE/TIME]の[Date]を選択し、(SPACE)キーで日付を設定する
③手順②と同様に[Time]で時刻を設定する
④(FN)+(→)キー、または(END)キー*1を押す
確認のメッセージが表示されます。
(END)キーを押す場合に、NUM LOCK LEDが点灯している場合は、(NUMLOCK)キーを押して消灯してから(END)キーを押してください。
⑤(Y)キーを押す
設定内容が有効になり、BIOSセットアップが終了します。
パソコンが再起動します。

＊1 (END)キー搭載モデルのみ

Q 起動時に「Press F1 to Run SETUP Press F2 to load default values and continue」と表示され、Windowsが起動できない

A 時計用バッテリーが不足しています。

時計用バッテリーは、ACアダプターを接続し電源を入れているときに充電されます。

参照 時計用バッテリーについて《オンラインマニュアル》

ACアダプターを接続後、次の手順でBIOSセットアップの日付と時刻を設定してください。

①(F1)キーを押す
BIOSセットアップ画面が表示されます。
②[メイン]メニューの[言語]で[日本語(JP)]を選択する
③(F9)キーを押す
確認のメッセージが表示されます。
④[はい]を選択し、[ENTER]キーを押す
BIOSセットアップが標準設定の状態になります。
⑤[メイン]メニューの[システム時刻]で時刻を設定する
⑥[メイン]メニューの[システム日付]で日付を設定する
⑦(F10)キーを押す
確認のメッセージが表示されます。
⑧[はい]を選択し、(ENTER)キーを押す
BIOSセットアップが終了し、パソコンが再起動します。

Q 起動時に「The firmware has detected that a CMOS battery failure occured. <F1> continue _」と表示され、Windowsが起動できない

A 時計用バッテリーが不足しています。

時計用バッテリーは、ACアダプターを接続して電源を入れているときに充電されます。

参照 時計用バッテリーについて《オンラインマニュアル》

ACアダプターを接続後、次の手順で日付と時刻を設定してください。

①(F1)キーを押す
Windowsが起動します。
②[コントロールパネル]を開く
③Windows 7、Windows Vistaの場合
[時計、言語、および地域]をクリック→[日付と時刻]をクリックする

Windows XPの場合
[日付、時刻、地域と言語のオプション]をクリック→[日付と時刻を変更する]をクリックする
日付と時刻を設定する画面が表示されます。
④日付と時刻を合わせる
⑤[OK]ボタンをクリックする

Q 「システムの日付または時刻が無効です」と表示された

A 日付と時刻を設定してください。

Windows Updateやアプリケーションのセットアップを行う場合は、正しい日付と時刻を設定してから行ってください。

参照 日付と時刻の設定について
「1章 3 Windowsセットアップ」

Q 次のようなメッセージが表示された

- 「Insert system disk in drive.Press any key when ready」
- 「Non- System disk or disk error Replace and press any key when ready」
- 「Invalid system disk Replace the disk,and then press any key」
- 「Boot:Couldn't Find NTLDR Please Insert another disk」
- 「Disk I/O error Replace the disk,and then press any key」
- 「Cannot load DOS press key to retry」
- 「Remove disks or other media.Press any key to restart」
- 「NTLDR is missing
Press any key to restart」

A フロッピーディスクなどの起動ディスクを取り出し、何かキーを押してください。

上記の操作を行っても解決しない場合は、『東芝PCサポートのご案内』で必要事項を確認のうえ、東芝PCあんしんサポートに連絡してください。

Q その他のメッセージが表示された

A 使用しているシステムやアプリケーションの説明書を確認してください。

その他

Q ハードディスクから リカバリーできなくなったときは

＊ HDDリカバリー機能搭載モデルのみ

A ハードディスクドライブに搭載されているリカバリー（再セットアップ）ツール（システムを復元するためのもの）のデータが破損、もしくは誤って消去されている可能性があります。

また、市販のソフトウェアを使用してパーティションの構成を変更すると、リカバリーができなくなることがあります。
「TOSHIBA Recovery Media Creator」で作成したリカバリーメディアを使って、リカバリーしてください。

参照 リカバリーの操作方法
「3章2-③ リカバリーメディアからリカバリーをする」

リカバリーメディアがない場合は、修理が必要になる可能性があります。東芝PCあんしんサポートに相談してください。

Q 異常な臭いや過熱に気づいた！

A パソコン本体、周辺機器の電源を切り、電源コードのプラグをコンセントから抜いてください。安全を確認してバッテリーパックをパソコン本体から取りはずしてから東芝PCあんしんサポートに相談してください。

なお、連絡の際には次のことを伝えてください。

- 使用している機器の名称
- 購入年月日
- 現在の状態（できるだけ詳しく連絡してください）

Q このQ&A集を読んでも解決できない

A このほかにもいろいろな解決方法があります。

1《オンラインマニュアル》を見る

このQ&A集は、パソコンの電源が入らないなど、《オンラインマニュアル》を見られない状況でのQ&Aのみ記載しています。《オンラインマニュアル》の「Q&A」には、このほかにも困ったことが起きた場合の対処方法を記載しています。

2「dynabook.com」の「よくある質問（FAQ）」を調べる

インターネットに接続できるときは、東芝PC総合情報サイト「dynabook.com」でサポート情報を見てください。お問い合わせの多い質問やホットなQ&Aが掲載されています。
「A．回答・対処方法」の説明を読んでも問題が解決しない場合は、説明のあとのアンケートに引き続き、質問メールを出すこともできます。

＊ メールでの質問には「お客様登録」が必要です。

3 東芝PCあんしんサポートに電話する

パソコン本体のトラブルは、東芝PCあんしんサポートでお答えします。『東芝PCサポートのご案内』で必要事項を確認のうえ、東芝PCあんしんサポートに連絡してください。

Q 操作できない原因がどうしてもわからない

A パソコン本体のトラブルの場合は、『東芝PCサポートのご案内』で必要事項を確認のうえ、東芝PCあんしんサポートに連絡してください。

A アプリケーションのトラブルの場合は、各アプリケーションのサポート窓口にお問い合わせください。

参照 アプリケーションのお問い合わせ先
『取扱説明書』

A 周辺機器のトラブルの場合は、各周辺機器のサポート窓口にお問い合わせください。

参照 周辺機器のお問い合わせ先
『周辺機器に付属の説明書』

3章

買ったときの状態に戻すには －リカバリー－

この章では、パソコンの動作がおかしくなり、いろいろなトラブル解消方法では解決できないときに行う「リカバリー」について説明しています。リカバリーを行うことでシステムやアプリケーションを購入時の状態に復元できます。作成したデータなどが消去されますので、よく読んでから行ってください。

リカバリーとは

リカバリー（再セットアップ）とは、お客様が作成したデータや、購入後にインストールしたアプリケーション、現在の設定などをすべて削除し、もう 1 度ご購入時の状態に復元する作業です。
リカバリーをするとハードディスク内に保存されているデータ（文書ファイル、画像・映像ファイル、メールやアプリケーションなど）はすべて消去され、設定した内容（インターネットやメールの設定、Windows ログオンパスワードなど）も購入時の状態に戻る、つまり何も設定していない状態になります。

1 度リカバリーを始めると、途中で中止したり、パソコンの電源を切ることはできません。
次のような場合で、どうしても改善する方法がないときにリカバリーをしてください。

- パソコンの動作が非常に遅くなった
- 周辺機器が使えなくなった
- ハードディスクにあるシステムファイルを削除してしまった
- コンピューターウイルスやスパイウェアなどに感染し、駆除できない*1
- パソコンの調子がおかしく、いろいろ試したが解消できない
- 東芝 PC あんしんサポートに相談した結果、「リカバリーが必要」と診断された

＊1 アプリケーションが正常に起動できない場合など、状態によってはウイルスチェックができない場合があります。

① リカバリーをする前に確認すること

パソコンの動作がおかしいと感じたとき、次の方法を実行してみてください。リカバリーをしなくても、状態が改善される場合があります。次の方法をすべて試してみても状態が改善されない場合に、リカバリーを実行してください。

1 ウイルスチェックソフトで、ウイルス感染のチェックを実行する

本製品に用意されているウイルスチェックソフトを使って、ウイルスに感染していないかどうかを確認してください。ウイルスが検出されたら、ウイルスチェックソフトで駆除できます。その際、ウイルス定義ファイル（パターンファイル）は、最新のものに更新しておいてください。場合によっては、ウイルスチェックソフトで駆除できないウイルスもあります。そのときは、リカバリーを実行してください。

2 セーフ モードで起動できるか実行してみる

Windows が起動できないときは、セーフ モードで起動してみてください。セーフ モードでは、最低限の機能で Windows を起動させることができます。
起動方法については、『取扱説明書』を参照してください。
セーフ モードで起動できた場合は、リカバリーをする前に東芝 PC あんしんサポートにご相談ください。

3 周辺機器をすべて取りはずし、再度確認する

メモリや USB 対応機器など、購入後に追加で増設した機器が障害の原因となっている場合があります。それらを取りはずしてから、再度確認してみてください。また、電源関連のトラブルの場合は、バッテリーをいったん取りはずし、再度取り付けてから起動し直してみてください。

参照 機器の取りはずし 『取扱説明書』《オンラインマニュアル》

4 ほかのトラブル解消方法を探す

パソコンの調子がおかしいと思ったときは、《オンラインマニュアル》で解消へのアプローチを確認してください。いろいろな解消方法を紹介しています。
また、「本章 2-④ システム回復オプションについて」で、Windows が正常に起動しなくなった場合に使用する「システム回復オプション」の説明をしています。
それでも解消できないときに、リカバリーをしてください。

② リカバリーをはじめる前にしておくこと

リカバリーをはじめる前に、次の準備と確認を行ってください。

1 準備するもの

- 『セットアップガイド』（本書）
- 巻末のリカバリー（再セットアップ）チェックシートをコピーしたもの
- リカバリーメディア（作成したリカバリーメディアからリカバリーする場合）
- リカバリー DVD-ROM ／リカバリー CD-ROM（付属しているモデルの場合）

2 必要なデータのバックアップをとる

リカバリーをすると、購入後に作成したデータやインストールしたアプリケーションなど、ハードディスクに保存していた内容は削除されて、設定が初期化されます。次のようなデータは削除されますので、可能な場合は、記録メディア（CD や USB フラッシュメモリなど）にバックアップをとってください。

＊ Windows（OS）を変更した場合、バックアップをとったデータが一部使用できない場合があります。

- ドキュメントまたはマイドキュメントのデータ
- デスクトップに保存したデータ
- インターネットエクスプローラのお気に入り
- メール送受信データ
- メールアドレス帳
- プレインストールされているアプリケーションのデータやファイル
- お客様がインストールされたアプリケーションのデータ
- お客様が作成されたフォルダーとファイル

また、リカバリー後も現在と同じ設定でパソコンを使いたい場合は、現在の設定を控えておいてください。

＊ Windows（OS）を変更した場合、控えておいた設定が一部使用できない場合があります。

ただし、ハードディスクをフォーマットしたり、システムファイルを削除した場合や、電源を入れてもシステムが起動しなくなってからでは、バックアップをとることができません。また、リカバリーを行っても、ハードディスクに保存されていたデータは復元できません。

3 アプリケーションのセットアップ用メディアを確認する

「Microsoft Office」や、購入後に追加でインストールしたアプリケーション、プリンターなどの周辺機器のドライバーは、リカバリー後にインストールする必要があります。
これらを再度インストールするためのメディア（CD など）が、お手元にあることを確認してください。
また、アプリケーションによっては、再度インストールするときに ID 番号などが必要です。あらかじめ確認してください。

4 各種設定を確認する

インターネットや LAN の設定、Windows ログオン時のアカウント名などの設定項目を、メモなどに控えておいてください。ウイルスチェックソフトなど、有償で購入した認証キーなどがセットアップ時に必要なアプリケーションは、それらの番号を控えておいてください。確認方法は各アプリケーションのヘルプやお問い合わせ先にご確認ください。

5 音量を調節する

リカバリー後、Windows セットアップが終了するまで音量の調節はできません。
あらかじめ音量を調節してください。（FN）＋（ESC）キーを使って、内蔵スピーカーやヘッドホンの音量をミュート（消音）にしている場合は、もう一度（FN）＋（ESC）キーを押して元に戻しておいてください。

6 無線LAN機能がオンであるか確認する

＊ 無線 LAN モデルのみ

無線 LAN 機能がオンであることを確認してください。
ワイヤレスコミュニケーションスイッチが内蔵されているモデルは、ワイヤレスコミュニケーションスイッチが On 側にスライドされていることを確認してください。

7 周辺機器をすべて取りはずす

メモリやUSB対応機器など、パソコン本体に取り付けている物は、ACアダプターのケーブル以外すべて取りはずしてください。
このとき、パソコン本体の電源を切ってから行ってください。

参照 機器の取りはずし 『取扱説明書』《オンラインマニュアル》

お願い

- 市販のソフトウェアを使用してパーティションの構成を変更すると、リカバリーができなくなることがあります。

リカバリー=再セットアップをする

本製品にプレインストールされているWindowsやアプリケーションを復元する方法について説明します。
本製品のリカバリーは、ユーザー権限に関わらず、誰でも実行できます。誤ってほかの人にリカバリーを実行されないよう、ユーザーパスワードを設定しておくことをおすすめします。

参照 ユーザーパスワード《オンラインマニュアル》

① いくつかあるリカバリー方法

リカバリーには、次の方法があります。

【 リカバリーDVD-ROM／リカバリーCD-ROMが付属していないモデル 】

- ハードディスクドライブからリカバリーをする
- 作成したリカバリーメディアからリカバリーをする

通常はハードディスクドライブからリカバリーをしてください。
リカバリーメディアからのリカバリーは、ハードディスクドライブのリカバリー（再セットアップ）ツール（システムを復元するためのもの）を消してしまったり、ハードディスクからリカバリーができなかった場合などに行うことをおすすめします。
リカバリーメディアからリカバリーをする場合は、「1章 8 リカバリーメディアを作る」を確認して、リカバリーメディアを用意してください。

【 リカバリーDVD-ROM／リカバリーCD-ROMが付属しているモデル 】

- 付属のリカバリーDVD-ROM／リカバリーCD-ROMからリカバリをする

② ハードディスクからリカバリーをする

ハードディスクのリカバリーツールでは、次のメニューのなかからリカバリー方法を選択することができます。あらかじめリカバリー方法を決めておくとスムーズに操作できます。

■ご購入時の状態に復元■
ハードディスクをパソコンを購入したときの状態に戻し、購入時にプレインストールされていたシステムとアプリケーションを復元します。購入後に作成したデータや設定などはすべて消去されます。

■パーティションサイズを変更せずに復元■（推奨）
パーティションサイズを変更して使用していた場合、そのパーティションの構造を保ったままシステムを復元します。ハードディスクドライブ（C:）に保存されていたデータは消去され、購入時の状態に戻りますが、その他のドライブに保存されていたデータや設定は、そのまま残ります。ただし、BIOS情報やコンピューターウイルスなどの影響でデータが壊れている場合、ハードディスクドライブ（C:）以外の領域にあるデータも使えないことがあります。

■パーティションサイズを指定して復元■
ハードディスクドライブ（C:）のサイズを指定して復元することができます。ハードディスクドライブ（C:）以外のハードディスクの領域は一つの領域になり、データや設定などはすべて消去されます。

メモ

- リカバリーは、ドライブにメディアをセットしていない状態で実行してください。ドライブにメディアがセットされていると、エラーになる場合があります。
- どのメニューを選択しても、ハードディスクドライブ（C:）にはリカバリーツールから購入時と同じシステムが復元されます。

ここでは、「パーティションサイズを変更せずに復元」する方法を例にして説明します。

1 **パソコンの電源を切る（シャットダウン）**

2 **ACアダプターと電源コードを接続する**

3 ⓪（ゼロ）キーを押しながら電源スイッチを押し、［dynabook］または［TOSHIBA］画面が表示されたら手をはなす

各種パスワードを設定している場合は、パスワードの入力をうながすメッセージが表示されます。
パスワードを入力して(ENTER)キーを押してください。
メッセージが表示されます。

4 画面の内容を確認し、［はい］ボタンをクリックする

［復元方法の選択］画面が表示されます。

5 ［初期インストールソフトウェアの復元］をチェックし、［次へ］ボタンをクリックする

［ハードディスク上の全データの消去］は、パソコンを廃棄または譲渡する場合など、個人情報漏えいを防ぐために、ハードディスクのデータを完全に消去するためのものです。通常は実行しないでください。実行すると、ハードディスク上にある、リカバリーツールの領域以外のすべてのデータが削除されます。

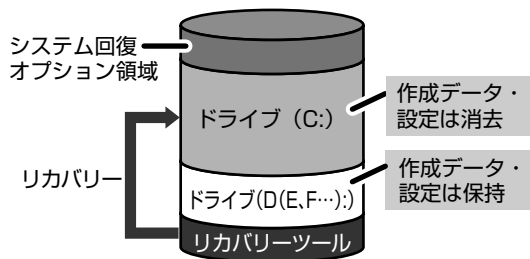
参照 ハードディスクの消去について「4章 1-2 ハードディスクの内容をすべて消去する」

6 ［パーティションサイズを変更せずに復元］をチェックし、［次へ］ボタンをクリックする

［パーティションサイズを変更せずに復元］を選択した場合の意味と動作は、次のとおりです。
ほかのメニューを選択した場合については、次のページを参照してください。

・［ご購入時の状態に復元］ ：P.59
・［パーティションサイズを指定して復元］：P.59

● 「パーティションサイズを変更せずに復元」とは

「パーティションサイズを指定して復元」を使って、すでにハードディスクの領域を分割している場合などに使用します。ハードディスクドライブ（C:）がリカバリーされ、それ以外の領域のデータはそのまま残ります。

ハードディスクドライブ（C:）（■）にあたる領域は、作成したデータ、設定した項目、インストールしたアプリケーションなどがすべて消去された状態になります。

（ハードディスクドライブの領域を分割している場合の表示例）

「先頭パーティションのデータは、すべて消去されます。」というメッセージが表示されます。

メモ

● ［ご購入時の状態に復元］と［パーティションサイズを変更せずに復元］は、リカバリーツールとシステム回復オプションの領域が確保されているため、ハードディスクの100%を使用することはできません。

7 ［次へ］ボタンをクリックする

処理を中止する場合は、［キャンセル］ボタンをクリックしてください。

［次へ］ボタンをクリックすると復元が実行され、［パーティションを初期化しています。しばらくお待ちください。］画面が表示されます。
長い時間表示される場合がありますが、画面が切り替わるまでお待ちください。

復元中は、リカバリーの経過に従い、画面が変わります。
復元が完了すると、終了画面が表示されます。

8 ［終了］ボタンをクリックする

システムが再起動します。

しばらくすると、デバイスや必要なアプリケーションなどをインストールする画面が表示されます。
メッセージの表示や再起動は何度か行われます。
何も操作しないでお待ちください。絶対に途中で電源を切らないでください。

Windowsのセットアップ画面が表示されます。

9 Windows のセットアップを行う

参照 詳細について 「1 章 3 Windows セットアップ」

- 一部のアプリケーションは、リカバリー後にアプリケーションのインストールをする必要があります。

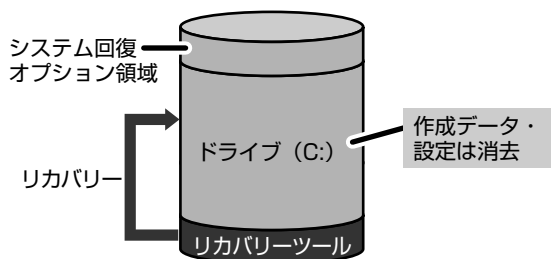
参照 詳細について 「本章 3-② アプリケーションを再インストールする」

購入後に変更した設定がある場合は、Windows のセットアップ後に、もう 1 度設定をやり直してください。また、周辺機器の接続、購入後に追加したアプリケーションのインストールも、Windows のセットアップ後に行ってください。

参照 周辺機器の接続 『取扱説明書』《オンラインマニュアル》

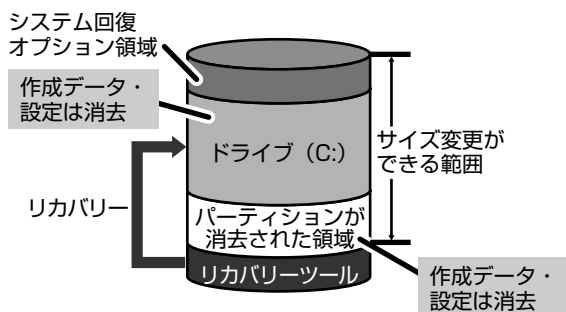
［初期インストールソフトウェアの復元］画面のリカバリーメニューについて

「本節 ② ハードディスクからリカバリーをする」の手順 6 の［初期インストールソフトウェアの復元］画面で表示されるリカバリーメニューの意味と動作は次のようになります。

■ご購入時の状態に復元■
パソコンを購入したときの状態に戻します（モデルによって、ご購入時のパーティションの状態は異なります）。

作成したデータ、設定した項目、インストールしたアプリケーションなどがすべて消去された状態になります。

手順 6 のあとは「ハードディスクの内容は、すべて消去されます。」というメッセージが表示されます。

■パーティションサイズを指定して復元 ■
ハードディスクドライブ（C:）のサイズを変更します。
ハードディスクドライブ（C:）以外の領域区分（パーティション） は消去され、1 つの領域になります。その領域（ □ ）は「ディスクの管理」から再設定を行うと、再びドライブとして使用できるようになります。
［システム回復オプション］のチェックをはずしてリカバリーを行うと、システム回復オプション領域は消去されます。その領域（ ■ ）も、「ディスクの管理」から設定するとドライブとして使用できます。

参照 ディスクの管理 「本章 3-①-1 パーティションを設定する」

作成したデータ、設定した項目、インストールしたアプリケーションなどがすべて消去された状態になります。

①［C：ドライブのサイズ］で ▲ ▼ をクリックしてパーティション（ハードディスクドライブ（C:)）のサイズを指定する
　必要に応じて［システム回復オプション］にチェックをするか、またはチェックをはずしてください。
②［次へ］ボタンをクリックする
　手順 6 のあとは「ハードディスクの内容は、すべて消去されます。」というメッセージが表示されます。

③ リカバリーメディアからリカバリーをする

＊ここでは、作成したリカバリーメディアを使用した場合について説明します。

次のメニューのなかからリカバリー方法を選択することができます。あらかじめリカバリー方法を決めておくとスムーズに操作できます。

お願い Windows（OS）を変更するにあたって

リカバリー DVD-ROM ／リカバリー CD-ROM を使って Windows（OS）を変更する場合は、必ず［ご購入時の状態に復元］を選択してください。
他の項目を選択すると、エラーが発生する場合があります。その場合は電源スイッチを押して電源を切り、最初からやり直してください。

■ご購入時の状態に復元■
ハードディスクをパソコンを購入したときの状態に戻し、購入時にプレインストールされていたシステムとアプリケーションを復元します。購入後に作成したデータや設定などはすべて消去されます。

■パーティションサイズを変更せずに復元■
パーティションサイズを変更して使用していた場合、そのパーティションの構造を保ったままシステムを復元します。ハードディスクドライブ（C:）に保存されていたデータは消去され、購入時の状態に戻りますが、その他のドライブに保存されていたデータは、そのまま残ります。ただし、BIOS 情報やコンピューターウイルスなどの影響でデータが壊れている場合、ハードディスクドライブ（C:）以外の領域にあるデータも使えないことがあります。

■パーティションサイズを指定して復元■
ハードディスクドライブ（C:）のサイズを指定して復元することができます。ハードディスクドライブ（C:）以外のハードディスクの領域は 1 つの領域になり、そこに保存されていたデータや設定などはすべて消去されます。

メモ

- どのメニューを選択しても、ハードディスクドライブ（C:）には購入時と同じシステムが復元されます。

外付けの DVD ドライブでリカバリーする場合は、あらかじめ DVD ドライブを接続してください。

参照 接続方法 『DVD ドライブに付属の取扱説明書』

1 **AC アダプターと電源コードを接続する**

2 **リカバリーメディアをセットして、パソコンの電源を切る（シャットダウン）**

DVD のリカバリーメディアが複数枚ある場合は、「メディア 1」からセットしてください。

3 **F12 キーを押しながら電源スイッチを押し、［dynabook］または［TOSHIBA］画面が表示されたら手をはなす**

各種パスワードを設定している場合は、パスワードの入力をうながすメッセージが表示されます。
パスワードを入力して ENTER キーを押してください。

4 **表示されたアイコンまたはメニューの中から ← → キーまたは ↑ ↓ キーでリカバリーメディアを選択し、ENTER キーを押す**

選択する項目は、次のようになります。

本体内蔵ドライブ　：［CD/DVD］
＊ドライブが内蔵されているモデルのみ
外付けの DVD ドライブ　：［USB］または［USB CDROM］のドライブ
USB フラッシュメモリ　：［USB］の USB フラッシュメモリ

Windows 7、Windows Vista の場合は［復元方法の選択］画面が表示されます。
Windows XP の場合はメッセージが表示されます。手順 6 へ進んでください。

5 **［TOSHIBA Recovery Wizard］をチェックし、［次へ］ボタンをクリックする**

［システム回復オプション］には、パソコンを使用するうえでのさまざまなトラブルやデータ保護に対応したメニューが用意されています。詳細は「本節 ④ システム回復オプションについて」を参照してください。

メッセージ画面が表示されます。

6 **画面の内容を確認し、［はい］ボタンをクリックする**

［復元方法の選択］画面が表示されます。

7 **［初期インストールソフトウェアの復元］をチェックし、［次へ］ボタンをクリックする**

［ハードディスク上の全データの消去］は、パソコンを廃棄または譲渡する場合など、個人情報漏えいを防ぐために、ハードディスクのデータを完全に消去するためのものです。通常は実行しないでください。実行すると、ハードディスク上にある、すべてのデータが削除されます。

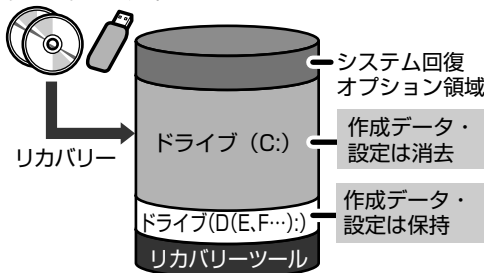
参照 ハードディスクの消去について 「4 章 1-2 ハードディスクの内容をすべて消去する」

8 **［パーティションサイズを変更せずに復元］をクリックし、［次へ］ボタンをクリックする**

お願い Windows（OS）を変更するにあたって

リカバリー DVD-ROM ／リカバリー CD-ROM を使って Windows（OS）を変更する場合は、必ず［ご購入時の状態に復元］を選択してください。
他の項目を選択すると、エラーが発生する場合があります。その場合は電源スイッチを押して電源を切り、最初からやり直してください。
この操作を実行すると、購入時後に作成したデータや設定などはすべて消去されます。

［パーティションサイズを変更せずに復元］を選択した場合の意味と動作は、次のとおりです。
［パーティションサイズを変更せずに復元］を選択した場合の意味と動作は、次のとおりです。
ほかのメニューを選択した場合については、次のページを参照してください。
・［ご購入時の状態に復元］ ：P.62
・［パーティションサイズを指定して復元］：P.63

- **「パーティションサイズを変更せずに復元」とは**
「パーティションサイズを指定して復元」を使って、すでにハードディスクの領域を分割している場合などに使用します。ハードディスクドライブ（C:）がリカバリーされ、それ以外の領域のデータはそのまま残ります。

ハードディスクドライブ（C:）（ ）にあたる領域は、作成したデータ、設定した項目、インストールしたアプリケーションなどがすべて消去された状態になります。
＊システム回復オプション領域は Windows 7、Windows Vista のみ

（ハードディスクドライブの領域を分割している場合の表示例）

「先頭パーティションのデータは、すべて消去されます。」というメッセージが表示されます。

メモ

- 「ご購入時の状態に復元」と「パーティションサイズを変更せずに復元」を選択した場合は、リカバリーツールとシステム回復オプションの領域が確保されているため、ハードディスクの 100% を使用することができません。

9 ［次へ］ボタンをクリックする

処理を中止する場合は、［キャンセル］ボタンをクリックしてください。

［次へ］ボタンをクリックすると復元が実行され、［パーティションを初期化しています。しばらくお待ちください。］画面が表示されます。
長い時間表示される場合がありますが、画面が切り替わるまでお待ちください。

復元中は、リカバリーの経過に従い、画面が変わります。

＊最初に［コピーしています。］画面が表示される場合があります。
長い時間表示される場合もありますが、画面が切り替わるまでお待ちください。

リカバリーメディアが複数枚ある場合、画面の指示に従って入れ替えてください。

復元が完了すると、終了画面が表示されます。

10 ［終了］ボタンをクリックする

リカバリー DVD-ROM ／リカバリー CD-ROM の場合は、自動的にメディアが出てきます。リカバリーメディアを取り出してください。
システムが再起動します。

しばらくすると、デバイスや必要なアプリケーションなどをインストールする画面が表示されます。
メッセージの表示や再起動は何度か行われます。
何も操作しないでお待ちください。絶対に途中で電源を切らないでください。

Windows のセットアップ画面が表示されます。

11 Windows のセットアップを行う

参照 詳細について 「1 章 3 Windows セットアップ」

メモ

- 一部のアプリケーションは、リカバリー後にアプリケーションのインストールをする必要があります。

参照 詳細について 「本章 3- ② アプリケーションを再インストールする」

購入後に変更した設定がある場合は、Windows のセットアップ後に、もう 1 度設定をやり直してください。また、周辺機器の接続、購入後に追加したアプリケーションのインストールも、Windows のセットアップ後に行ってください。

参照 周辺機器の接続 『取扱説明書』《オンラインマニュアル》

［初期インストールソフトウェアの復元］画面のリカバリーメニューについて

「本節 ③ リカバリーメディアからリカバリーをする」の手順８の［初期インストールソフトウェアの復元］画面で表示されるリカバリーメニューの意味と動作は次のようになります。

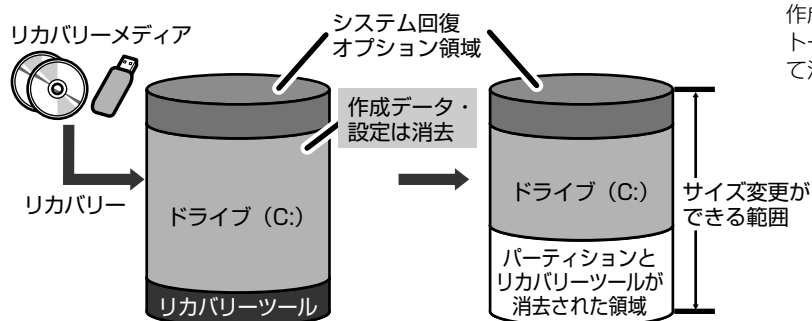
■ご購入時の状態に復元■
パソコンを購入したときの状態に戻します（モデルによって、ご購入時のパーティションの状態は異なります）。

作成したデータ、設定した項目、インストールしたアプリケーションなどがすべて消去された状態になります。

＊システム回復オプション領域は Windows 7、Windows Vista のみ

手順８のあとは「ハードディスクの内容は、すべて消去されます。」というメッセージが表示されます。

■パーティションサイズを指定して復元 ■
ハードディスクドライブ（C:）のサイズを変更します。
ハードディスクドライブ（C:）以外の領域区分（パーティション） とリカバリーツールの領域は消去され、1 つの領域になります。その領域は「ディスクの管理」から再設定を行うと、再びドライブとして使用できるようになります。
Windows 7、Windows Vista の場合、［システム回復オプション］のチェックをはずしてリカバリーを行うと、システム回復オプション領域は消去されます。その領域（ ）も、「ディスクの管理」から設定するとドライブとして使用できます。

参照 ディスクの管理 「本章 3-①-1 パーティションを設定する」

＊システム回復オプション領域は Windows 7、Windows Vista のみ

①［C：ドライブのサイズ］で をクリックしてパーティション（ハードディスクドライブ（C:））のサイズを指定する
Windows 7、Windows Vista の場合、必要に応じて［システム回復オプション］にチェックをするか、またはチェックをはずしてください。
②［次へ］ボタンをクリックする

手順 8 のあとは「ハードディスクの内容は、すべて消去されます。」というメッセージが表示されます。

④ システム回復オプションについて

＊ Windows 7、Windows Vista の場合

Windows 7、Windows Vista の場合は、「システム回復オプション」が用意されています。「システム回復オプション」とは、Windows が正常に起動しなくなった場合に、問題を解決して起動できるようにするメニューが集まったものです。

1 「詳細ブートオプション」を表示する

『取扱説明書』に記載されている「セーフ モードで起動する」と同じ手順で表示してください。

2 ［コンピューターの修復］を選択し、ENTERキーを押す

キーボードの選択画面が表示されます。

3 ［日本語］を選択し、［次へ］ボタンをクリックする

ログオン画面が表示されます。

4 ユーザー名を選択し、Windows ログオンパスワードを入力する

5 ［OK］ボタンをクリックする

「システム回復オプション」が起動します。

- スタートアップ修復
  システムファイルの不足や破損など、Windows の正常な起動を妨げる可能性のある問題を解決し、正常に起動できるようにします。
- システムの復元
  システムファイルを正常に機能していた日時の状態に復元することができます。
- Windows Complete PC 復元
  ＊7 Professional、Vista Bussiness モデルのみ
  Windows Complete PC バックアップイメージからコンピューターを復元します。
- メモリ診断ツール
  メモリが正常に機能しているかどうかを確認します。
- コマンドプロンプト
  コマンドプロンプトに切り替えます。
- TOSHIBA Recovery Wizard
  リカバリー（再セットアップ）メニューを表示します。

6 使いたいメニュー名をクリックする

このあとの操作は、メニューによって異なります。表示された画面の指示に従って操作してください。

システム回復オプション領域を削除してしまったときは

リカバリーをした際、［パーティションサイズを指定して復元］を選択し、［システム回復オプション］のチェックをはずした場合は、この手順では「システム回復オプション」を起動できません。次のいずれかの手順で起動してください。

- リカバリーメディアがある場合は、メディアから「システム回復オプション」を起動することができます。
  ①AC アダプターと電源コードを接続する
  ②メディアをセットして、パソコンの電源を切る（シャットダウン）
  メディアが複数枚ある場合は、「メディア 1」からセットしてください。
  ③F12キーを押しながら電源スイッチを押し、［dynabook］または［TOSHIBA］画面が表示されたら手をはなす
  各種パスワードを設定している場合は、パスワードの入力をうながすメッセージが表示されます。
  パスワードを入力してENTERキーを押してください。
  ④表示されたアイコンまたはメニューの中から←→キーまたは↑↓キーでリカバリーメディアを選択し、ENTERキーを押す
  選択する項目については、「本節 ③ リカバリーメディアからリカバリーをする」の手順 4 を参照してください。
  ［復元方法の選択］画面が表示されます。
  ⑤［システム回復オプション］をチェックし、［次へ］ボタンをクリックする
  キーボードの選択画面が表示されます。
  ⑥「日本語」を選択し、［次へ］ボタンをクリックする
  オペレーティングシステム選択画面が表示されます。
  ⑦「Microsoft Windows 7」または、「Microsoft Windows Vista」を選択し、［次へ］ボタンをクリックする
  「システム回復オプション」が起動します。
- リカバリーメディアがない場合は、ハードディスクから［ご購入時の状態に復元（システム回復オプションあり）］を選択してリカバリーをすると、［詳細ブートオプション］→［コンピューターの修復］から「システム回復オプション」を起動できます。

3 リカバリーをしたあとは

① Windows セットアップのあとは

パーティションの設定を変更してリカバリーをした場合のみ、次の「1 パーティションを設定する」の操作を行ってください。

1 パーティションを設定する

パーティションの設定を変更してリカバリーをした場合は、リカバリー後すみやかに次の設定を行ってください。
Windows 7およびWindows VistaとWindows XPでは、パーティションの設定方法が異なります。お使いの機種の状態に合わせて、該当するOSの手順をご覧ください。

Windows 7／Windows Vistaの場合

お願い パーティションを設定するにあたって

- 「ディスクの管理」を使用すると、ボリュームがないプライマリパーティションが表示されます。このパーティションにはリカバリー（再セットアップ）するためのデータが保存されていますので、削除しないでください。削除した場合、リカバリーはできなくなります。

1 コンピューターの管理者になっているユーザーアカウントでログオンする

2 ［スタート］ボタン（ ）→［コントロールパネル］をクリックする

3 ［ システムとセキュリティ］→［ 管理ツール］をクリックする

4 ［ コンピューターの管理］をダブルクリックする

5 左画面の［ ディスクの管理］をクリックする

設定していないパーティションは［未割り当て］と表示されます。

6 ［ディスク0］の［未割り当て］の領域を右クリックする

7 表示されるメニューから［新しいシンプル ボリューム］をクリックする

［新しいシンプル ボリューム ウィザード］が起動します。

8 ［次へ］ボタンをクリックし、ウィザードに従って設定する

次の項目を設定します。
・ボリュームサイズの指定
・ドライブ文字またはパスの割り当て
・パーティションのフォーマット
　・ファイルシステム
　・アロケーションユニットサイズ
　・ボリュームラベル
　・クイックフォーマット
　・ファイルとフォルダーの圧縮

9 設定内容を確認し、［完了］ボタンをクリックする

フォーマットが開始されます。
パーティションの状態が［正常］と表示されれば完了です。
詳細については「コンピューターの管理」のヘルプを参照してください。

【ヘルプの起動】
①メニューバーから［ヘルプ］→［トピックの検索］をクリックする

Windows XP の場合

1 コンピューターの管理者になっているユーザアカウントでログオンする

2 ［コントロールパネル］を開き、［ パフォーマンスとメンテナンス］をクリックする

3 ［ 管理ツール］をクリックする

4 ［ コンピュータの管理］をダブルクリックする

5 左画面の［ディスクの管理］をクリックする

設定していないパーティションは［未割り当て］と表示されます。

6 ［ディスク 0］の［未割り当て］の領域を右クリックする

7 表示されるメニューから［新しいパーティション］をクリックする

［新しいパーティションウィザード］が起動します。

8 ［次へ］ボタンをクリックし、ウィザードに従って設定する

次の項目を設定します。
・パーティションの種類
・パーティションサイズ
・ドライブ文字またはパスの割り当て
・フォーマット
・ファイルシステム

9 設定内容を確認し、［完了］ボタンをクリックする

フォーマットが開始されます。
パーティションの状態が［正常］と表示されれば完了です。
詳細については「コンピュータの管理」のヘルプを参照してください。

【 ヘルプの起動 】
①メニューバーから［ヘルプ］→［トピックの検索］をクリックする

② アプリケーションを再インストールする

本製品にプレインストールされているアプリケーションは、一度削除してしまっても、必要なアプリケーションやドライバーを指定して再インストールすることができます。
Office 製品の再インストールについては、「本節 ③ Office 製品を再インストールする」を参照してください。

【 必要なもの 】
● 『セットアップガイド』（本書）

アプリケーションによっては、再インストール時に ID 番号などが必要です。あらかじめ確認してから、再インストールすることを推奨します。

同じアプリケーションがすでにインストールされているときは、コントロールパネルの「プログラムのアンインストール」または「プログラムの追加と削除」や、各アプリケーションのアンインストールプログラムを実行して、アンインストールを行ってください。
アンインストールを行わずに再インストールを実行すると、正常にインストールできない場合があります。ただし、上記のどの方法でもアンインストールが実行できないアプリケーションは、上書きでインストールしても問題ありません。

1 操作手順

1 ［スタート］ボタン（ ）→［すべてのプログラム］→［アプリケーションの再インストール］をクリックする

2 ［セットアップ画面へ］をクリックする

アプリケーションやドライバーのセットアップメニュー画面が表示されます。アプリケーションやドライバーのセットアップメニューは、カテゴリごとのタブに分かれています。
初めて起動したときは、［ドライバー］タブが表示されています。タブをクリックして再インストールしたいアプリケーションを探してください。
画面左側にはアプリケーションの一覧が表示されています。
画面右側にはアプリケーションの説明が書かれていますので、よくお読みください。

3 画面左側のアプリケーション名を選択し、画面右側の「XXX のセットアップ」をクリックする

「XXX」にはアプリケーション名が入ります。選択したメニューによっては別の言葉が表示されます。

4 表示されるメッセージに従ってインストールを行う

［ファイルのダウンロード］画面が表示された場合は、［実行］ボタンをクリックしてください。

③ Office 製品を再インストールする

＊ Office 搭載モデル、PowerPoint 搭載モデルの場合

ここでは、Office Personal 2007、Office Professional 2007 、Office PowerPoint 2007 を再インストールする方法を説明します。

【 必要なもの 】
付属のパッケージに、必要なものが一式入っています。

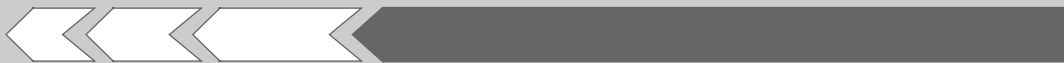
- 「Microsoft® Office Personal 2007」一式
- 「Microsoft® Office Professional 2007」一式
- 「Microsoft® Office PowerPoint® 2007」一式

再インストールした場合、ライセンス認証が必要になります。

再インストール方法とセットアップ方法

詳細は、それぞれのパッケージに付属の『スタート ガイド』を確認してください。

【Service Pack 2 について】
添付の CD から Office Personal 2007、Office Professional 2007、Office PowerPoint 2007 を再インストールした場合、Service Pack 2 は組み込まれません。
次の手順を行って、インストールしてください。
①［スタート］ボタン→［すべてのプログラム］→［アプリケーションの再インストール］をクリックする
②［セットアップ画面へ］をクリックする
③［Windows 関連］タブをクリックする
④画面左側の［Microsoft Office 2007 Service Pack 2］をクリックし、表示された画面に従ってセットアップする

【Office ナビ搭載モデルの場合】
「Microsoft® Office ナビ 2007」は、アプリケーションの再インストールから再インストールします。
①［スタート］ボタン→［すべてのプログラム］→［アプリケーションの再インストール］をクリックする
②［セットアップ画面へ］をクリックする
③［Windows 関連］タブをクリックする
④ 画面左側の［Microsoft Office ナビ 2007］をクリックし、表示された画面に従ってセットアップする

④ バックアップしておいたデータを復元する

バックアップをとっておいたデータを使いたい場合は、バックアップした記録メディアからデータを読み込んでください。
市販のアプリケーションによってバックアップ方法や復元方法が用意されている場合は、その方法に従って復元してください。

4章

廃棄／譲渡について

パソコン本体を捨てるときや人に譲るときの処置について、知っておいて欲しいことを説明しています。

捨てるとき／人に譲るとき

1 お客様登録の削除について

●ホームページから削除する

東芝 ID（TID）をお持ちの場合はこちらからお願いします。

① インターネットで「http://room1048.jp/」へ接続する
② ［ログイン］ボタンをクリックする
［セキュリティの警告］画面が表示された場合は、内容を確認し、［OK］ボタンをクリックしてください。
③ ［東芝 ID（TID）］と［パスワード］に入力し、［ログイン］ボタンをクリックする
お客様専用ページにログインします。
④ ページ右上の［登録情報変更］をクリックする
［登録情報変更メニュー］画面が表示されます。
⑤ ［退会］をクリックし、登録を削除する

※ 退会ではなく、商品の削除のみのお客様は「登録情報変更メニュー」で、商品削除を行ってください。
※ TID を退会されますと、「Shop1048」での TID 会員メニュー、およびポイントサービスなどもご利用いただけなくなりますので、あらかじめご了承ください。

●電話で削除する

「東芝 ID 事務局（お客様情報変更）」までご連絡ください。

- 東芝 ID 事務局（お客様情報変更）
TEL　　：0570-09-1048
受付時間：10:00 〜 17:00
（土・日、祝日、東芝特別休日を除く）

紹介しているホームページ、電話番号はお客様登録の内容変更、削除に関するお問い合わせ窓口です。
保守サービス、修理などの技術的な相談は、『東芝 PC サポートのご案内』を確認してください。

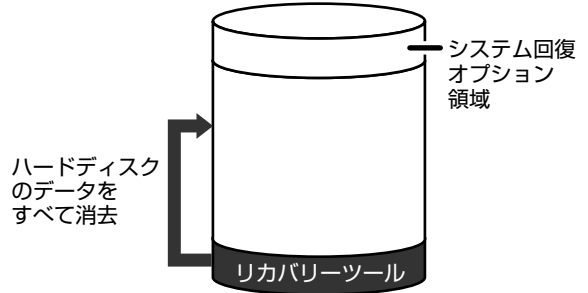
法人のお客様の場合は、ログインで表示される画面が異なります。登録情報の変更および退会は「登録情報変更」のメニューで、ご自身で行っていただくことができますが、商品の削除ができませんので、その場合は東芝 ID 事務局までお電話でご連絡くださいますようお願いいたします。

- 詳しくは、次のホームページを参照してください。

URL：https://room1048.jp/onetoone/info/business.htm

またリサイクルに関しては、『東芝 PC サポートのご案内』を参照してください。

2 ハードディスクの内容をすべて消去する

パソコン上のデータは、削除操作をしても実際には残っています。普通の操作では読み取れないようになっていますが、特殊な方法を実行すると削除したデータでも再現できてしまいます。そのようなことができないように、パソコンを廃棄または譲渡する場合など、他人に見られたくないデータを読み取れないように、消去することができます。

（ハードディスクのリカバリーツールを使用する場合）

なお、ハードディスクに保存されている、これまでに作成したデータやプログラムなどはすべて消失します。これらを復元することはできませんので、注意してください。

操作手順

ハードディスクの内容を削除するには、ハードディスクのリカバリーツール、作成したリカバリーメディア、付属のリカバリー DVD-ROM ／ CD-ROM を使用します。
ハードディスクのリカバリーツールを使用すると、ハードディスク内のデータはすべて消去されますが、リカバリーツールは残ります。
作成したリカバリーメディアを使用すると、ハードディスク内のデータと共にリカバリーツールも消去されます。
ここでは、ハードディスクのリカバリーツールから行う方法を例にして説明します。リカバリーメディアから行う場合は、手順の前にメディア（メディア 1）をセットしてください。

1 パソコンの電源を切る（シャットダウン）

2 AC アダプターと電源コードを接続する

3 ⓪（ゼロ）キーを押しながら電源スイッチを押し、［dynabook］または［TOSHIBA］画面が表示されたら手をはなす

各種パスワードを設定している場合は、パスワードの入力をうながすメッセージが表示されます。
パスワードを入力して（ENTER）キーを押してください。

メッセージ画面が表示されます。手順 5 へ進んでください。

【 リカバリーメディアをセットしている場合 】

(F12)キーを押しながら電源スイッチを押し、[dynabook] または［TOSHIBA］画面が表示されたら手をはなします。
各種パスワードを設定している場合は、パスワードの入力をうながすメッセージが表示されます。
パスワードを入力して(ENTER)キーを押してください。
メッセージが表示されます。
表示されたアイコンまたはメニューの中から(←)(→)キーまたは(↑)(↓)キーでリカバリーメディアを選択し、(ENTER)キーを押してください。
選択する項目は、次のようになります。

本体内蔵ドライブ　　：[CD/DVD]
＊ドライブが内蔵されているモデルのみ
外付けのDVDドライブ：[USB］または［USB CDROM] のドライブ
USBフラッシュメモリ：[USB] のUSBフラッシュメモリ

4 **[TOSHIBA Recovery Wizard］をチェックし、[次へ］ボタンをクリックする**

メッセージ画面が表示されます。

5 **画面の内容を確認し、[はい］ボタンをクリックする**

［復元方法の選択］画面が表示されます。

6 **［ハードディスク上の全データの消去］をチェックし、[次へ］ボタンをクリックする**

消去方法を選択する画面が表示されます。

7 **目的に合わせて、[標準データの消去］または［機密データの消去］をチェックし、[次へ］ボタンをクリックする**

通常は［標準データの消去］を選択してください。
データを読み取れなくなります。
より確実にデータを消去するためには、[機密データの消去］を選択してください。数時間かかりますが、データは消去されます。
［データの消去を開始します。］画面が表示されます。

8 **［次へ］ボタンをクリックする**

処理を中止する場合は、[キャンセル］ボタンをクリックしてください。
［次へ］ボタンをクリックすると、消去が実行されます。
消去が完了すると、終了画面が表示されます。

9 **［終了］ボタンをクリックする**

DVDの場合は、自動的にメディアが出てきます。
メディアを取り出してください。

TPMの内容を消去する

＊ TPM搭載モデルのみ

TPMを使用している場合、ハードディスクドライブだけでなく、TPM内部のデータを削除する必要があります。登録情報など、セキュリティに関する重要な情報が含まれるため、必ずデータを削除してください。

参照 『Trusted Platform Module 取扱説明書』

4章 廃棄／譲渡について

リカバリー（再セットアップ）チェックシート

リカバリーは、本ページをコピーするなどして、次の項目を順番にチェックしながら実行してください。
本ページに記載されている各チェック項目の詳細は、「3 章 買ったときの状態に戻すには」で説明しています。

① リカバリーをする前に確認すること

□ ウイルスチェックソフトで、ウイルス感染のチェックを実行する
□ セーフ モードで起動できるかどうか実行してみる
□ 周辺機器をすべて取りはずし、再度確認してみる
□ ほかのトラブル解消方法を探してみる

参照 『取扱説明書』《オンラインマニュアル》

② リカバリーをはじめる前にしておくこと

□ **①準備するもの**

□『セットアップガイド』（本書）　□『取扱説明書』
□ このリカバリーチェックシートをコピーしたもの
□ リカバリーメディア（作成したリカバリーメディアからリカバリーする場合）

□ **②必要なデータのバックアップをとる**

バックアップをとることができる場合は、とっておいてください。リカバリーをすると、購入後に作成したデータはすべて消失します。

□ ドキュメントまたはマイドキュメントのデータ
□ 購入後にデスクトップに保存したデータ
□ インターネットエクスプローラーのお気に入り
□ メール送受信データ
□ メールアドレス帳
□ プレインストールされているアプリケーションのデータやファイル
□ 購入後にインストールしたアプリケーションのデータ
□ 購入後に作成したフォルダーやファイル

□ **③アプリケーションのセットアップ用のメディアを確認する**

「Microsoft Office」や、購入後にインストールしたアプリケーションなどは、リカバリー後にインストールする必要があります。リカバリーした直後は、お客様がインストールしたソフトなどは復元されません。ご購入されたメディアなどから再度インストールしてください。

□ **④各種設定を確認する**

□ **⑤あらかじめ、音量を調節する**

□ **⑥周辺機器をすべて取りはずす**

③ リカバリー（再セットアップ）の流れ

リカバリーをする場合は、次のような流れで作業を行ってください。

□ リカバリー（再セットアップ）
□ アプリケーションやドライバーのインストール*
□ ウイルスチェックソフトのインストール*
□ Office 製品（Word、Excel など）のインストール*
□ 周辺機器（マウス・メモリ・プリンターなど）を取り付けて、設定する
□ インターネットの設定
□ ウイルスチェックソフトの更新
□ Windows Update
□ データの復元やメールの設定

＊ 必要なモデルの場合